



株式会社

エービーエム

2018年度

環境経営レポート (総合版)

2018年4月～2019年3月

発行日：2019年7月1日

豊かに快適な環境を求めて…



爽やかな笑顔、
真心のサービス



環境経営レポート部門



®環境省
エコアクション21
認証番号0011545

～ 目 次 ～

1. 社是・経営方針・環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 2
 2. 組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 3
 - 2-1. 事業者名及び代表者氏名
 - 2-2. 事業所所在地
 - 2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先
 - 2-4. 創業（設立）年月日
 - 2-5. 資本金
 - 2-6. 認証・登録範囲
 - 2-7. 事業の規模
 3. 環境目標とその実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 4～15
 - 3-1. 環境負荷の現状（平成30年度環境負荷自己チェック結果より）
 - 3-2. 環境目標（単年度・中期）と達成状況
 4. 環境活動計画と取組結果並びに次年度の取組内容・・・・・・・・ p 16
 5. 指定管理施設の環境負荷について・・・・・・・・・・・・・・・・ p 18
 6. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無・・・・・・・・ p 19
 - 6-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況
 - 6-2. 法令違反・訴訟等の有無
 7. 代表者による見直しの結果・・・・・・・・・・・・・・・・ p 19
 8. 環境コミュニケーションの取組・・・・・・・・・・・・・・・・ p 20～25
- 各指定管理施設環境経営レポート

株式会社エービーエムは、エービーエムエナジー合同会社を設立し、太陽光発電による再生可能エネルギー事業を開始しました。（H27.9.24竣工）



平成20年に創立40周年を記念して植樹、米沢市に寄贈した「オオヤマザクラ」がちょうど10年経ち、大きく育っていました。

ゴールデンウィークに開催される「米沢上杉まつり」。伝統あるお祭りを盛り上げようと、今年も親睦会を中心としたメンバーで「上杉甲冑行列」や「川中島の合戦」に今年も参加協力しました。（H30年度は雨でした）





社 是

私達は、技術・知識の向上に努め
安全・安心・清潔のサービスをモットーに
快適な環境を社会へ提供します。

経 営 方 針

私達は お客様感動を達成します。
私達は 事故ゼロを継続します。
私達は 不祥事案を撲滅します。
私達は 環境方針を推進します。

環 境 経 営 方 針

環境理念

私たちは、ふるさとの豊かな環境を守り、持続可能な社会の実現を目指すため、環境マネジメントシステムの継続的な運用改善を図り、自らの環境負荷を可能な限り削減していくとともに、総合ビル管理、警備、指定管理等の業務を通じて、「安全・安心・清潔」に関する技術と真心サービスを提供しつつ、お客様の環境負荷の削減にも寄与してまいります。

環境行動指針

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 電力使用、化石燃料の消費に伴い発生する二酸化炭素を計画的に削減していきます。
3. 廃棄物を可能な限り削減するとともに分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます。
4. 節水に努め、水資源を大切にします。
5. 化学物質の使用量を削減していきます。
6. 社員のスキル向上により、業務の効率化を図り、他社との差別化を図ります。
7. お客様の環境負荷削減につながる提案を積極的に行い、可能な範囲で実践します。
8. 地域の環境保全活動に貢献します。

制定日：平成28年6月1日

最終改定日：令和元年5月1日

代表取締役社長 赤間俊明

2. 組織の概要



2-1. 事業者名及び代表者氏名

- 株式会社 エービーエム
- 代表取締役社長 赤間 俊明

2-2. 事業所所在地

- 本社：〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田 584-2
- 南陽営業所：〒992-0472 山形県南陽市宮内 4641

2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者：企画・人事部部長 田口 浩之
- 連絡担当者：業務部 部長代理 遠藤 雅之
- 連絡先：TEL0238-37-5733 FAX0238-37-2822
- Email：m-endo@y-abm.co.jp

2-4. 創業（設立）年月日

- 1968年（昭和43年）9月

2-5. 資本金

- 1,000万円



2-6. 認証・登録範囲

1) 対象サイト：本社ならびに南陽営業所、指定管理施設

2) 事業活動：

警備業務（機械警備・常駐警備等）、清掃業務（日常清掃・定期清掃等）、ビル総合管理業務（設備管理・環境衛生管理等）指定管理業務

2-7. 事業の規模

事業規模	事業年度	平成27年度 (H27.4~H28.3)	平成28年度 (H28.4~H29.3)	平成29年度 (H29.4~H30.3)	平成30年度 (H30.4~H31.3)
売上高(千円)		733,376	773,711	791,260	826,570
認証対象従業員数/全従業員数		216/250	229/263	234/268	280/280
従業員数:本社		38	38	38	38
従業員数:南陽営業所		7	7	7	7
床面積(㎡):本社		303.9			
床面積(㎡):南陽営業所		101.8			

※売上高は、当社会計年度(4~3月)に合わせて集計しています。従業員数は各年度4月時点での在籍数です。従業員数には、業務受託現場に直行直帰する従業員は含まれていません。



3. 環境目標とその実績 (本社及び南陽営業所)



3-1. 環境負荷の現状(平成30年度環境負荷自己チェック結果より)

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、H28年度東北電力(調整後:0.548)を用いています。

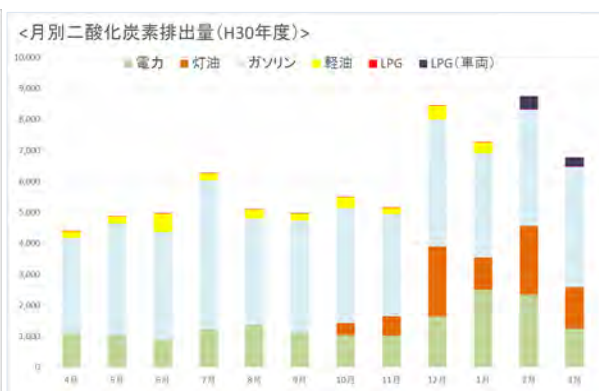
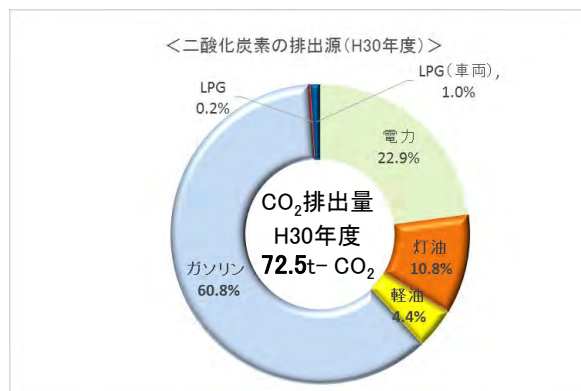
1) 当社における平成30年度のCO₂排出量は合計72,524kg-CO₂となっており、前年度比5%削減しました。これは平均的な一般家庭16軒分の排出量に相当します。(平成29年度1世帯あたりの平均年間排出量は4,480kg-CO₂: 出典: 温室効果ガスインベントリオフィス)

2) 当社から排出されるCO₂の66%はガソリン・軽油・LPG(車両用)の消費によるもので47,958kg-CO₂(前年比0.9%増)、次いで電力の使用に伴うものが22.9%、16,605kg-CO₂(同13.9%減)、灯油の消費に伴うものが10.8%、7,845kg-CO₂(同16.0%減)などとなっています。

3) ガソリン、軽油は、業務用車両の運行に伴い消費し、電力は事務所の照明、冷暖房、消雪用井戸ポンプの稼働で使用しています。また、灯油は冬期間の暖房用、LPGは事務所給湯用となっています。

4) 月別のCO₂発生量は12月~3月の冬期間(降雪期)に多くなっています。これは、灯油消費量の増加と消雪ポンプ稼働に伴う電力使用量が増加するためです。H30年度はH29年度に比して、暖冬だったことから灯油・電気の使用量は減っています。ガソリン・軽油は、月による変動にあまり特徴はありません。なお2月に軽油車両1台を環境負荷の少ないLPG車に交換し、軽油車両は無くなりました。

5) 以上のことから、特に車両運行に伴うガソリン・LPGの削減ならびに冬期間の暖房に伴う灯油、消雪用ポンプ稼働に伴う電力使用の削減などが重点課題となります。



■ 廃棄物排出量

- 1) 一般廃棄物: 可燃ごみ、紙類(資源回収対象)などは、行政の分別ルールに従い、本社・南陽それぞれ、量を把握した上で排出しています。可燃ごみが最も多く、本社435kg、南陽148kg、次いで紙類(再生資源)が本社241kg、南陽139kgなどとなっていました。なお、リサイクル率は本社37.8%、南陽48.4%となっていました。
- 2) 産業廃棄物: 汚泥(ワックス剥離液・洗剤廃液等)が大部分で全体の70.1%(1,321kg)を占めています。その他の廃棄物については、乾電池以外、管理受託現場から排出されたものとなります。

■ 総排水量(水使用量)

本社・南陽ともに融雪用に地下水を利用していますが、量は把握できません。水道は、すべて生活用水となります。本社、南陽合わせて、484m³使用しました。前年比14.1%削減しました。なお、放流先は本社は公共用水域(浄化槽)、南陽は下水となります。

■ 化学物質使用量(購入量)



清掃業務に使用する洗剤、剥離剤等にPRTR成分を含有しているものがあります。H30年度分の使用量は、2-アミノエタノールが3.6kgでした。



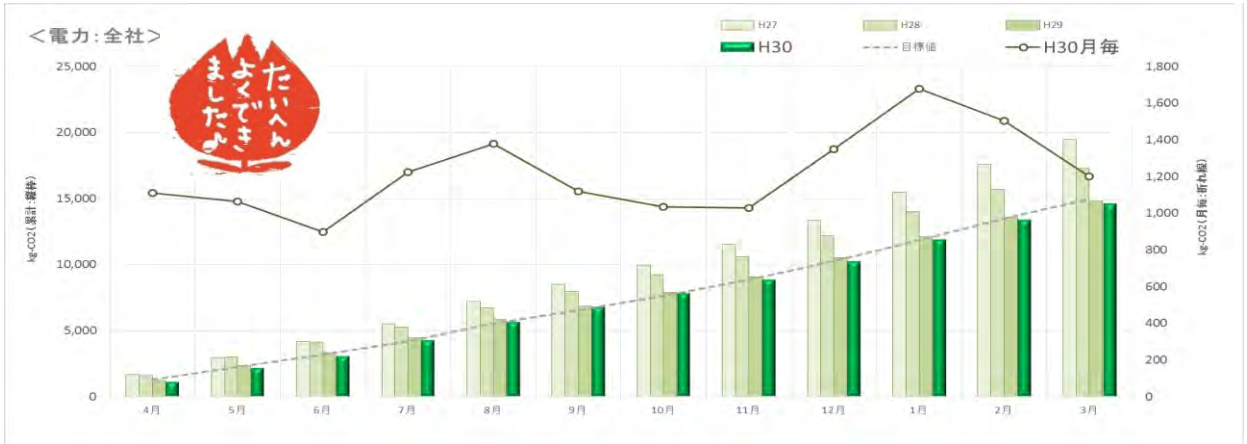
3-2. 環境目標（単年度・中期）と達成状況

環境経営方針との整合性を図りながら、環境負荷の自己チェックの結果を踏まえ、7項目（二酸化炭素、廃棄物、水、化学物質、グリーン購入、製品・サービス関連、山形エコアクション21対応項目）について、環境目標（単年度目標&5年間中期目標）とその達成に向けた活動計画を策定し、取組を行いました。達成状況は下記のとおりです。

■ 二酸化炭素排出量（電力）

【H30年度目標】 H27年度比23%削減
 【中期目標（H28～32）】 H27年度比23%削減を維持

※冬期間、本社の消費用地下水揚水ポンプに使用する電力については、積雪量によって大きく変動することから、数値目標の対象としていません。



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

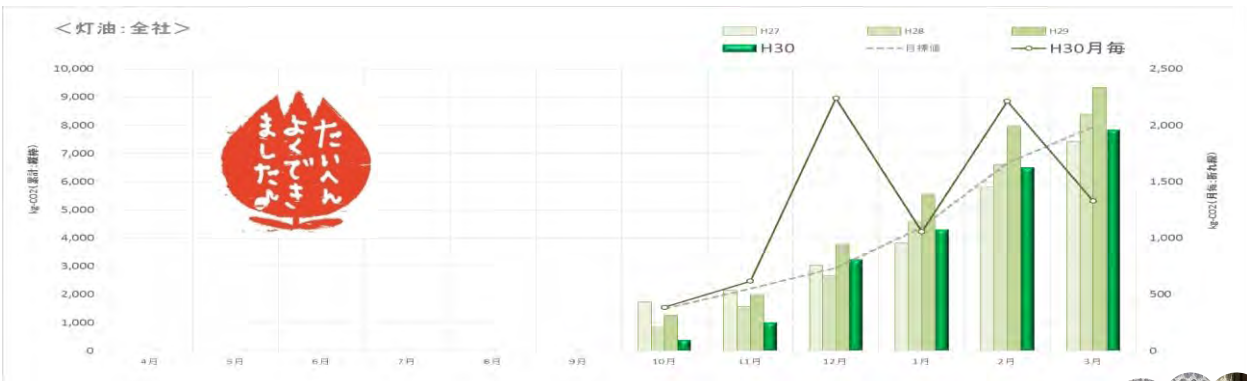
- 基準年度実績：19,491kg-CO₂
- 取組期間目標：14,945 kg-CO₂
- 取組期間実績：14,590 kg-CO₂
- 増減量：-4,901 kg-CO₂
- 増減率：-25.1%

【評価コメント】

本社22.0%減、南陽41.3%減と本社はぎりぎり目標には達しませんが、その分南陽が大幅な削減となったため、全社としては目標をクリアできました。従業員の環境に対する意識の変化が見られ、省エネ活動が浸透してきたことや、平成29年度から実施している窓に緩衝材を貼ったことと、暖冬の影響で電力使用量を抑えることができました。

■ 二酸化炭素排出量（灯油）

【H30年度目標】（本社）28年度比6%削減（南陽）27年度比22%削減
 【中期目標（H28～32）】（本社）28年度比10%削減（南陽）27年度比24%削減



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 基準年度実績：
 （本社）6893 kg-CO₂（南陽）1,886kg-CO₂
- 取組期間目標：7,950 kg-CO₂
- 取組期間実績：7,845 kg-CO₂
- 増減量：-555 kg-CO₂
- 増減率：-6.6%

【評価コメント】

本社10.2%減、南陽12.4%減となり、目標を達成することができました。平成30年度は暖冬だったこと、暖房器具の撤去などで灯油使用量を意識して抑えることができました。また、ガラス面に貼った緩衝材によって断熱効果が高まったことが考えられます。



■ 二酸化炭素排出量（ガソリン）

【H30年度目標】 H29年度比1%削減
 【中期目標（H28～32）】 H29年度比3%削減



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 基準年度実績：37,072 kg-CO₂
- 取組期間目標：33,286 kg-CO₂
- 取組期間実績：41,558 kg-CO₂
- 増減量：+4,486 kg-CO₂
- 増減率：+12.1%

【評価コメント】

本社+5.2%増、南陽+10.5%増と両サイトともに目標を大きく下回ってしまいました。原因と考えられるのは、5月に軽油車両1台をガソリン車両に入れ替えたこと、営業好調につき業務車両を使用する機会が増え、走行距離が昨年度と比べて増えたことが考えられます。（+7,685km）。

■ 二酸化炭素排出量（軽油）

【H30年度目標】 H29年度比1%削減
 【中期目標（H28～32）】 H29年度比3%削減



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 基準年度実績：5,501kg-CO₂
- 取組期間目標：5,446kg-CO₂
- 取組期間実績：3,157kg-CO₂
- 増減量：-2,344kg-CO₂
- 増減率：-42.6%

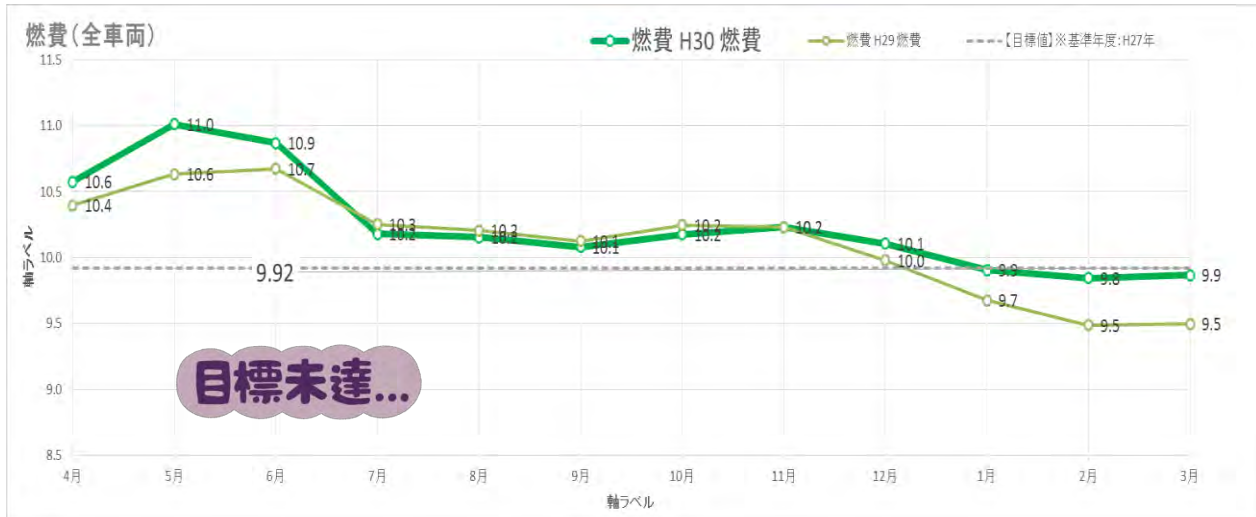
【評価コメント】

平成29年度の車両の入れ替えにより、本社のみの取組となりましたが、結果大きく目標を達成することができました。6月は業務量が増加し使用量は増加しましたが、2月に車両入れ替えによって軽油車両からLPG車にすることで、軽油使用がゼロになりました。

燃費



【H30年度目標】 基準年度燃費を18%向上
 【中期目標 (H28~32)】 基準年度燃費を20%向上



目標未達...

【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)
 ■ 基準年度実績: 8.41 k m/L
 ■ 取組期間目標: 9.92 k m/L
 ■ 取組期間実績: **9.90 k m/L**
 ■ 増減量: +1.5 k m/L
 ■ 増減率: +17.3%

【評価コメント】
 昨年度と比べると燃費は向上しましたが、目標は達成することができませんでした。エコドライブの意識が高まってきているが、前半、猛暑の影響でエアコン使用回数が増えました。一方後半は普通車から燃費の良い軽自動車に入れ替えたことと、暖冬もあって燃費は向上しました。ガソリンと軽油の全車両のCO₂排出量は、下のグラフのとおり、若干減らすことが出来ました。



社有車 E-1GP 2018-2019



順位	種別	登録年月	車両担当者	H30年度獲得ポイント	H30年度燃費
1位	日産ティヴァ	平成27年2月	業務部 今井部長	47pt	15.32 k m
2位	スバルパジェロ	平成17年5月	設備管理部 近野部長	30pt	13.61 k m
3位	トヨタ味のつくし	平成21年10月	企画・人事 田口部長	29pt	13.68 k m

■ 二酸化炭素排出量（LPG）

【H30年度目標】 H27年度比32.5%削減する
 【中期目標（H28～32）】 H27年度比10%削減する



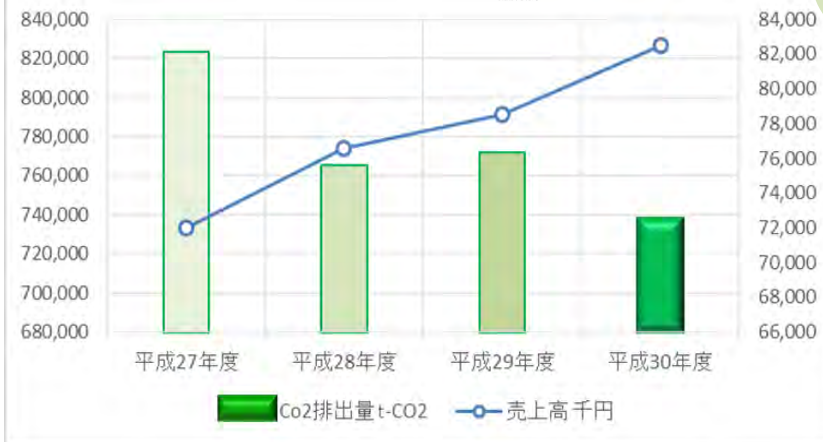
【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 基準年度実績：308.2kg-CO₂
- 取組期間目標：207.9kg-CO₂
- 取組期間実績：115.0kg-CO₂
- 増減量：-193.3kg-CO₂
- 増減率：-62.7%

【評価コメント】

本社53.4%減、南陽70.2%減となっています。両サイトともに給湯用での使用のみですが、夏場の使用は控え、温度設定を低くするなど対策を行いました。本社、南陽ともにガス給湯器の使用ルールを徹底し、大きく目標を達成することができました。

ちょっとフレイク その1 「売上高とCO2排出量について」



売上伸びているのは、主要な公共施設の管理を受注したからだっぺ。
 売上伸びているのに、Co2削減が出来ているのはすごいっぺ！



米沢市市民文化会館キャラクター「みっぺ君」



南陽市文化会館



ナセBA



道の駅米沢

■ 一般廃棄物排出量

【H30年度目標】 H28年度比で排出量39%削減／リサイクル率12%向上
 【中期目標（H28～32）】 H28年度比で排出量39%削減を維持 リサイクル率14%向上



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 基準年度実績：
 - 排出量 2,108kg（H28.4月は実績値を元に算定）
 - リサイクル率 30%
- 取組期間目標：排出量 1178kg リサイクル率39%
- 取組期間実績：排出量 **1,222kg**
リサイクル率**41%**
- 増減量：排出量 -886kg リサイクル率 +9%
- 増減率：排出量 -42%

【評価コメント】

排出量は本社859kg、南陽362kg、リサイクル率は、本社38%、南陽48%となり、排出量は目標は達成できませんでした。南陽営業所では駐車場に積み上げられていた草木を処分したこと、不要な書類を処分したことが排出量を上げたことが大きな理由と考えられます。一方リサイクル率はゴミの持ち帰りを推奨していることでゴミの排出量自体が減少しており、その分リサイクルゴミも排出量が減少しているが、書類などのゴミを排出したことでリサイクル率は向上しました。

■ 産業廃棄物排出量

【H30年度目標】 H27年度比36%削減
 【中期目標（H28～32）】 H27年度比36%削減を維持



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

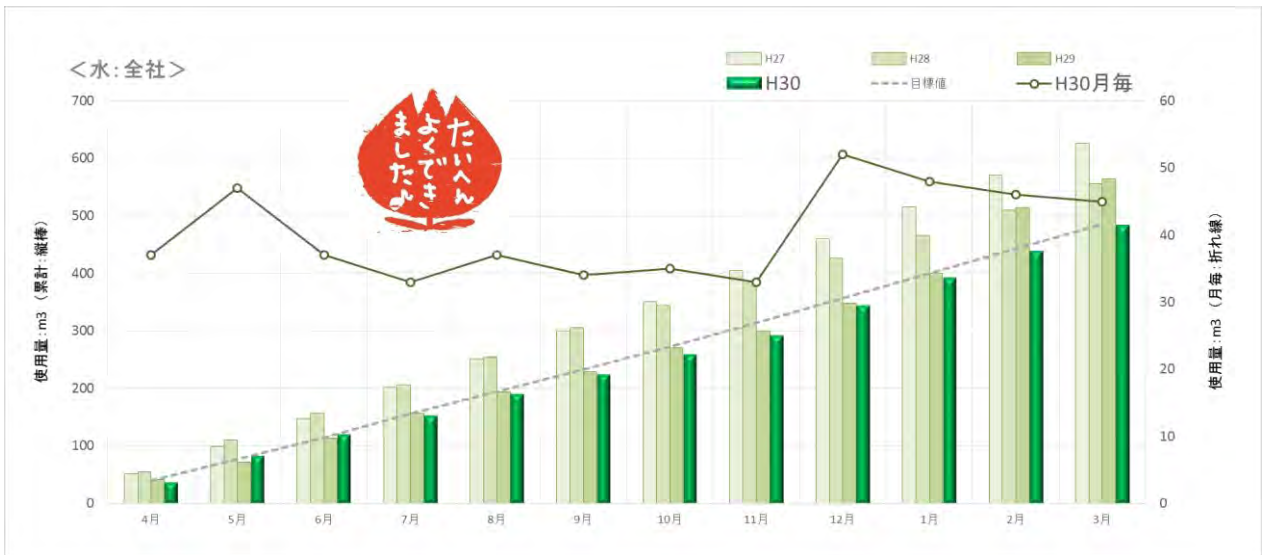
- 基準年度実績：3,103 kg
- 取組期間目標：1,984kg
- 取組期間実績： **1,884kg**
- 増減量：-1,219 kg
- 増減率：-39.3%

【評価コメント】

化学物質の少ない剥離施工に切り替えた結果、剥離汚泥の量を削減することができました。また、剥離剤を使用せず、半剥離剤を使うことで剥離汚水の量を減らすことが出来ました。産廃発生量は業務量に比例しますが「剥離汚水処理マニュアル」に基づき、回収すべき汚水と放流可能な排水を区別して、適切に処理しています。

■ 水使用量

【H30年度目標】 H27年度比22.4%削減
 【中期目標 (H28~32)】 H27年度比22.4%削減を維持



【取組結果】 (取組期間：H30.4~H31.3)

- 基準年度実績：626 m³
- 取組期間目標：486m³
- 取組期間実績：484 m³
- 増減量：-142 m³
- 増減率：-22.7%

【評価コメント】

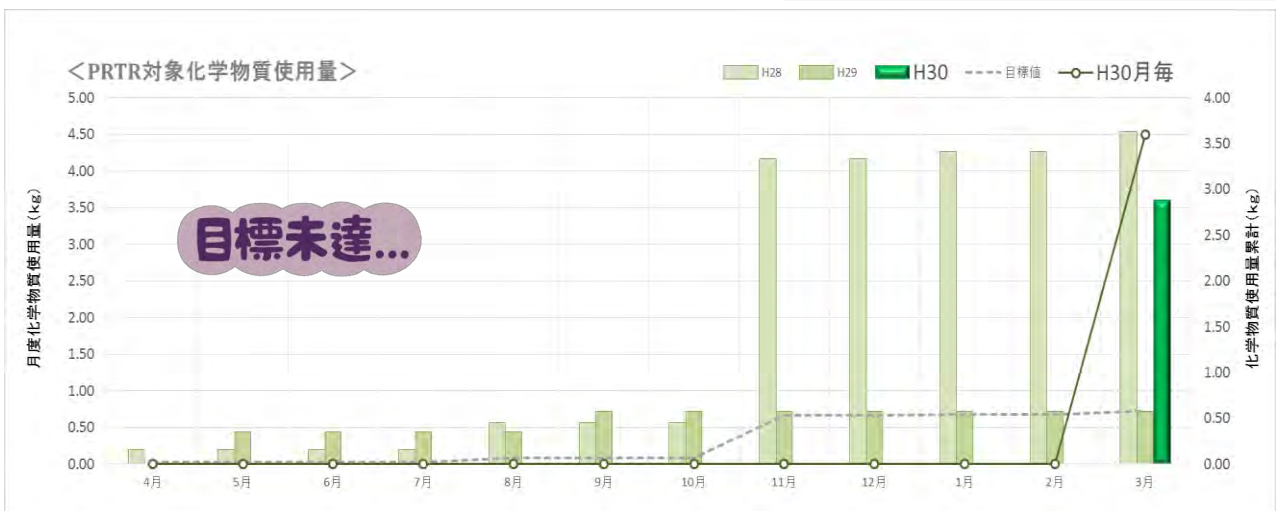
本社12.6%減、南陽39.7%減で、目標を達成することができました。業務量は増加していたが、洗濯物をまとめてするようにしたことや、コーヒーを作る回数を一日2回から1回に変更しました。営業所では蛇口パッキンの劣化により、使用量が増えたが早期発見で被害を最小限に抑えることができました。全体的には省資源の意識が全社員に浸透してきていると思います。

■ 化学物質使用量 (PRTR対象物質)

【H30年度目標】 基準年度比84%削減
 【中期目標 (H28~32)】 基準年度比84%削減を維持

PRTR (Pollutant Release and Transfer Register)
 : 化学物質排出移動量届出制度

有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握し、集計し、公表する仕組み



【取組結果】 (取組期間：H30.4~H31.3)

- 基準年度実績：4.5 kg
- 取組期間目標：0.7 kg
- 取組期間実績：3.6kg
- 増減量：-0.94 kg
- 増減率：-20.7%

【評価コメント】

清掃業務で使用している洗剤、ワックス、剥離剤を化学物質を含まない商品へ切替を行っているが、スポット剥離用の剥離剤を3月に購入してしまったため、目標を達成することができませんでした。現在のところ、代替製品がない。引き続き情報収集をして代替商品が出た時点で即時切替を考えています。

■ グリーン購入

【H30年度目標】グリーン購入率75%以上
 【中期目標（H28～32）】グリーン購入率80%以上



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 取組期間目標：75%
- 取組期間実績：77%

【評価コメント】

消耗品はカタログを見て、グリーン購入を積極的に進めている結果、わずかではありますが、目標を超えることができました。昨年度と比較して、グリーン購入対象商品が増えてきているような気がします。後半低下してしまった理由は、新規施設の備品を購入（エコ対象外）したことによります。

ちゅとフレイクその2「SDGsについて」



世界を変えるための目標ってすごい壮大な目標だな。でも良く見てみると当たり前のこと言っているっぺ。
 エコアクション推進委員会の目標にも今回からSDGsを取り入れたからみてみっぺ



■ 製品・サービスの環境負荷削減に係る環境目標

1) 社員のスキルアップ

…スキルアップ研修会の実施

エービーエムは、経営理念として「Customer Delight (お客様感動)」を掲げ、社員の知識・意識・技術向上を目的とした研修・教育を積極的に実施しています。平成29年度から実施している新人研修会において、エコアクションの講義も行っています。

社是ならびに環境方針に掲げる「技術・知識の向上」や「社員のスキル向上により、業務の効率化を図る」ため、業務の区分ごとに実施回数を定め、計画的に研修会を開催しています。

【H30年度1人当たりの実施回数】 (延べ実施回数)

- 警備課…2回 (10回)
- 業務部…1回 (12回)
- 設備 …1回 (12回)
- その他の社員 (指定管理総務・電話交換等) 1回 (2回)
- 新入社員研修 1回 (4回)

毎年参加している「電話応対コンクール置賜地区大会」では残念ながら県大会には出場できませんでした。



研修会のあとは、参加者全員でお弁当を食べます。講師の幹部社員との交流も兼ねています。

2) 誤発報による緊急出動回数の削減 該当発生回数の把握&原因分析

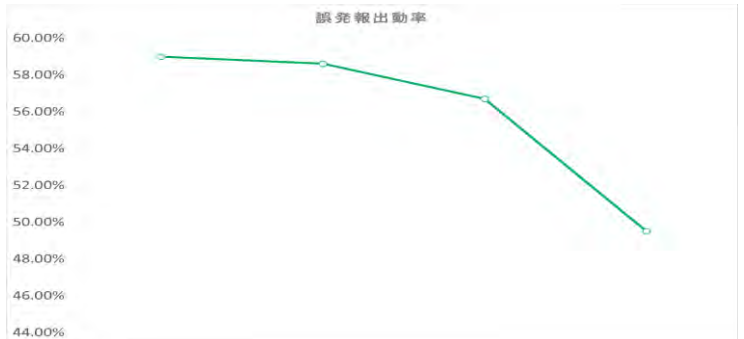
【取組結果】 (取組期間：H30.4～H31.3)

- 取組期間目標：45%
- 取組期間実績：49.5%

誤発報による出動回数、出動率ともに大幅に改善が見られたものの、目標の45%にはわずかに到達できませんでした。

センサーによる誤作動を防ぐために点検を実施していますが、点検時には正常のため、出動回数を減らすことが難しいので、点検時はセンサーに汚れや剝がれなど無いかよく観察するように心がけます。

一方、契約施設での人為的なミス(警備開始、解除ミス)によるものが32%でお客様に使用方法を理解してもらうための取組を引き続き働きかけてまいります。



	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
誤発報出動回数	197回	215回	182回	159回
全出動回数 (駐車場対応除く)	334回	367回	321回	276回
誤発報出動率	59.00%	58.60%	56.70%	49.50%

■ 地域の環境保全（山形エコアクション2.1対応項目）

【H30年度目標】会社周辺の清掃活動／環境保護団体の支援・協力

【中期目標（H28～32）】上記を継続的に実施



WakuWakuWorkで現役高校生に清掃指導

「地域の環境を保全する」ため毎月1回、会社周辺の清掃活動を実施しています。また、山形県地球温暖化防止活動推進センターの指定を受けている環境NPO「環境ネットやまがた」に協賛しています。その中で、H30年度は「家庭のアクション」に参加し、社員に広く周知し、約4割の社員が取り組み、30,456.99kgのCO₂を削減することができました。

指定管理施設周辺の清掃活動も実施し、また米沢市が参加した「チャレンジデー2018」においてこれまで「美しい山形・最上川フォーラム」が主催していた「スポーツゴミ拾い大会」を今回からエービーエム主催で実施し、参加チーム12チーム、45名で合計36Kgのゴミを拾うことができました。多くの社員が参加し、見事米沢市の勝利に貢献いたしました。

地域貢献活動として米沢商工会議所主催のWakuWakuWorkに今年も参加、現役高校生に清掃指導いたしました。

チャレンジデー2018
見事、取手市に勝利！

山形県	
米沢市	
よねざわし	
実施回数	3回目
人口	81,766人
参加者	44,988人
参加率	55.0%

VS

茨城県	
取手市	
とりでし	
実施回数	初実施
人口	107,963人
参加者	29,321人
参加率	27.2%

ちゅっせふれいそこの3 「家庭のアクション」チャレンジ結果について

従業員とその家族で『家庭のアクション』にチャレンジ！～夏の省エネ・節電編～
弊社実施期間：平成30年6月～9月（90日間）

順位	項目	1人1日当たりのCO ₂ 削減効果(g)	実施人数(従業員家族含む)	total(90日間)	割合(%)
1	エコドライブを行う。(例えば、発進時はふんわりアクセルでゆっくりスタートする、車間距離にゆとりをもって加速減速の少ない運転をする)※車1台1日当たりの削減量	717	254	16,390,620	53.8%
2	電化製品を買い替える時は省エネタイプのものを選ぶ。(電気冷蔵庫の場合)	205	200	3,690,000	12.1%
3	お風呂は間隔をあけずに入る。(追い焚きをなるべくしない)	85	206	1,575,900	5.2%
4	電気ポットを長時間使用しないときは電源プラグを抜く。	58	238	1,242,360	4.1%
5	太陽光発電パネルや木質バイオマス燃焼機器などの再生エネ機器を設置する。(太陽光発電パネル設置の場合 自己消費率4割)	895	13	1,047,150	3.4%
6	シャワーの使用を1分間短縮してみる。	79	138	981,180	3.2%
7	住宅の省エネリフォームをする。(内窓を付けた場合)	546	18	884,520	2.9%
8	冷房は、室温28℃を目安にする。	53	180	858,600	2.8%
9	エアコンは、必要な時だけつける。(1日1時間利用短縮)	33	275	816,750	2.7%
10	白熱電球は電球型蛍光灯やLEDランプに交換する。(LEDランプの場合)	48	168	725,760	2.4%
11	冷蔵庫の温度は適切に設定する。(温度設定を強から中に設定した場合)	33	233	692,010	2.3%
12	冷蔵庫にはものを詰めすぎないようにする。	23	236	488,520	1.6%
13	ジャー炊飯器での保温を控え、使わないときは電源プラグを抜く。	24	204	440,640	1.4%
14	テレビの画面は明るすぎないように調節する。(液晶の場合)	14	153	192,780	0.6%
15	エアコンのフィルターは月に1回か2回清掃する。	17	76	116,280	0.4%
16	冷蔵庫の開閉回数は少なくする。また、開閉時間は短くする。	5	230	103,500	0.3%
17	洗濯物はまとめて洗い、洗濯の回数を減らす。	3	246	66,420	0.2%
18	使用しない照明はこまめに消す。(蛍光灯の場合)	2	316	56,880	0.2%
19	部屋を片付けてから掃除機をかける。	2	245	44,100	0.1%
20	パソコンを使わない時は電源を切る。(ノート型の場合、1日1時間利用短縮)	2	239	43,020	0.1%
21	郵送にかかるエネルギーを少なくするよう、できる限り地元産の商品を選ぶ。	0	117	0	0.0%
22	早寝早起きを実践する。	0	159	0	0.0%
23	家族は、なるべくまとまって一部屋で過ごす。	0	157	0	0.0%
24	宅配便はなるべく1回で受け取るようにする。	0	125	0	0.0%
25	国民運動「COOL CHOICE(クールチョイス)」に賛同する。	0	175	0	0.0%
		削減されたCO ₂ 量		30,456,990	g



今回の活動で削減したCO₂排出量を杉の植樹本数に換算すると、約2,175本になるっぺ。これはサッカーフィールド約1面分の広さに杉を植樹に相当だっぺ(※サッカーフィールド面積：7,140㎡) 目指せ東京ドーム(46,755㎡)だっぺ



4. 環境活動計画と取組結果 並びに次年度の取組内容



<評価判定の目安>
 ○…実施済。80%以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。
 △…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。
 ×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。(是正処置の対象)

環境経営 目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	備考、是正処置 の必要性等	
二酸化炭素排出量 の削減	■消費電力の削減	■室温は、暖房期20℃、冷房期28℃で管理	○	○	○	○		
		■サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	○	○	○	○		
		■使用していない部屋のエアコンはOFF	○	○	○	○		
		■定期的にエアコンのフィルターを清掃	○	○	○	○		
		■不要な照明は消灯	○	○	○	○		
		■クールビズの推進（機能性下着の着用）	○	○	△	△		
		■ウォームビズの推進（保温性の高い下着の着用）	△	△	○	○		
		■パソコンは省エネモードで使用	○	○	○	○		
		■トイレの暖房便座は夏期OFF（温水の温度設定は「低」）	○	○	△	△		
		■グリーンカーテン	○	○	△	△		
		■窓にすだれを垂らし、直射日光を防ぐ	○	○	△	△		
		■省エネ性能の高いエアコンへの入れ替え	×	×	×	×		
		■融雪ハルブの修理	△	△	△	△	降雪センサーによる適正使用	
	■融雪装置適正利用手順書の策定	○	○	○	○			
	■電力使用量の見える化推進（環境負荷データの掲示）	△	△	△	△			
	■ガソリン・軽油使用量の削減 ※製品・サービス関連目標	■エコドライブの教育研修					○	
		■エコドライブ自己評価を実施（チェック表による）	○	○	○	○		
		■燃費・走行距離の把握（車両日報の記入）	○	○	○	○		
■5000km（6ヶ月）ごとにオイル交換、10000km（1年）ごとにエレメント交換（ハイブリッド車は別途規定する）		○	○	○	○			
■適切な時期でのタイヤ交換		○	○	○	○	冬タイヤは11月1日から		
■適切な空気圧の維持		○	○	○	○			
■エコタイヤの導入		○	○	○	○			
■不要な荷物を乗せたままにしない		○	○	○	○			
■その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	■業務の効率化（車両運行ルートの管理）	○	○	○	○			
	■計画的な低燃費車両への入れ替え	△	△	△	△			
	■暖房温度は決められた温度以下で管理する。	○	○	○	○			
	■窓の内側に断熱材を貼り付ける	○	○	○	○			
	■ウォームビズの徹底（服装による省エネ推進）	○	○	○	○			
■必要最低限の温度で給湯（夏期は使用しない）	○	○	○	○				
■窓を二重サッシにする	×	×	×	×				

多くの計画がほぼ計画通り実施されました。昨年実施できなかったエコドライブの教育研修を実施いたしました。H30年度は社有車を燃費の良い軽自動車を新車で整備し、また、唯一残っていた軽油車両を環境負荷の少ないLPG車に交換いたしました。

昨年度から実施している「窓ガラスに緩衝材を貼り付け」について、H30年度は窓に直接貼り付けることで、より気密性が高まりました。

また夏場のグリーンカーテンについて、H30年度は「ぬるっば」を植えて、一応窓を覆うぐらい成長しましたが、茎が細くひ弱なグリーンカーテンになりました。

今後は窓の二重サッシ化や省エネタイプエアコンに入れ替えるなどの設備投資が必要と考えます。



頭でっかちな
グリーンカーテン(来年こそは！)

の 廃 棄 物 と 適 正 排 出 量 理	■一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	■廃棄物置場の整理整頓	○	○	○	○	
		■不要な資料・カタログ等の辞退・返却	△	△	△	△	
		■コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)	○	○	○	○	
		■一般廃棄物の排出量記録	○	○	○	○	
		■社内の整理整頓	○	○	○	○	
	■産業廃棄物の削減と 適正管理	■保管場所の管理(安全衛生状態も含む)	○	○	○	○	
		■汚泥の濃縮分離ならびに分離水の処理方法の検討と試行	○	○	○	○	
		■充電式乾電池への転換	○	○	○	○	
		■マニフェスト・契約書類の管理	○	○	○	○	
		■委託先の状況確認		○			
化 学 物 質	■対象化学物質の管理	■SDSの収集整理・対象製品・使用量の把握	○	○	○	○	
	■対象化学物質の削減	■対象化学物質含有量の少ない製品の選定	○	○	○	×	
	■清掃方法の改善	■化学物質を使用しない清掃手法の検討(情報収集)	○	○	○	○	
の 排 水 量 削 減	■水道使用量の削減	■「節水」の掲示	○	○	○	○	
		■蛇口元栓の調整(必要最小限の流量)	○	○	○	○	
		■地下水の適正利用基準の策定と遵守			○	○	積雪センサーの設置
		■その他節水対策機器に関する情報収集	○	○	○	○	
グ リ ン 購 入	■グリーン購入	■グリーン購入ネットワーク(GPN)認定商品(エコ商品)の選定	○	○	○	○	
		■事務消耗品のエコ商品購入率の把握	○	○	○	○	
		■車両・設備・機械等購入時のルール確立と実践					
(製品 設定 項目 自 主 選 定 の 見 込 み)	■社員のスキルアップ	■資格取得者の増加	○	○	○	○	
		■社内研修会・勉強会の開催、テキスト参考書購入補助	○	○	○	○	
	■誤発報による緊急出動回数を 減らす	■機器点検の実施	○	○	○	○	
		■異常発報件数の把握	○	○	○	○	
山 形 E A 2 1 関	■環境保護団体への協力	■「NPO環境ネットやまがた」の入会(支援・協力)	○	○	○	○	
		■会社周辺の清掃活動	○	○	○		

不要なカタログの辞退について、出来るものから取り組みましたが、徹底までは出来ませんでした。最終処分場の視察として、有限会社厚生社の中山事業所を視察いたしました。対象化学物質の削減について、代替商品が無いため仕方なく購入したが、引き続き情報を収集して対象化学物質の使用しない商品への入れ替えを進めてまいります。

<次年度以降の取組の概要>

平成30年度未達成の項目については、原因を追究し早急に対策を講じてまいります。ガソリンなどの化石燃料使用量の削減については、ソフト面(社員教育)とハード面(施設の改善)の対策を引き続き講じてまいります。特に、施設の改善については、社員の取組だけでは、これまで以上の効果が期待できないため、積極的に改善を進めていけるように、経営側に働きかけてまいります。

ちよっせフレイクその4 「エコアクション大賞」について

今年度から家庭で出来るエコアイデアを募集し表彰するエコアクション大賞を実施いたしました。家庭で取り組まれているエコアイデアの中から優れたアイデアを選考し表彰いたしました。応募総数159点。



No.	勤務施設	氏名	エコアイデア	カテゴリー
36	本社 業務課	鹿野 兼一さん	家庭での生ゴミ(野菜くず)は堆肥にし、有機栽培を行っている(他にパルプ原料のボール紙、新聞紙等)	ゴミの削減
70	公立置賜総合病院	高橋 剛さん	浴室に水中ポンプ、壁面裏のボイラー・洗濯機にSWを設置し、風呂の残り湯を洗濯だけでなく家庭菜園にも使用(ポンプ設置前に比べ月約3t節約に成功)	節水
159	本社 総務	吉野 裕美さん	トレーにラップされた食品を買った際、キレイにラップを剥がし、そのラップで食品をくるみ冷凍する(商品名や消費期限が表示されているラベルが見えるようになる)	フードロス・ゴミの削減

5. 指定管理施設の環境負荷について



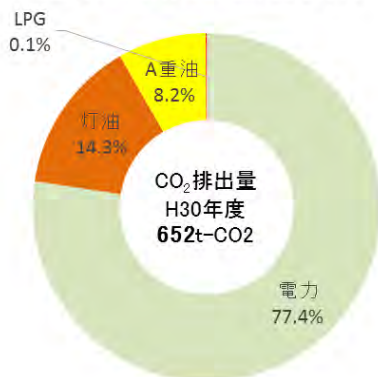
5-1. 環境負荷の現状(平成30年度環境負荷自己チェック結果(指定管理)より)

■ 二酸化炭素排出量

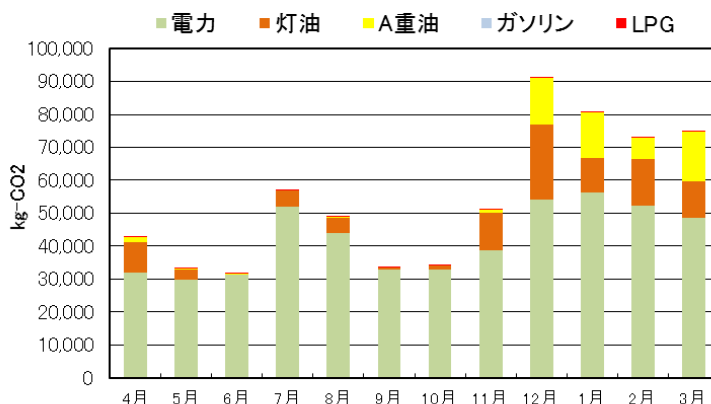
※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、H28年度東北電力(調整後:0.548)を用いています。

- 1) 指定管理施設における平成30年度のCO₂排出量は合計652,728kg-CO₂となっており、前年度比2.8%削減しました。これは平均的な一般家庭146軒分の排出量に相当します。(平成29年度1世帯あたりの平均年間排出量は4,480kg-CO₂: 出典:温室効果ガスインベントリオフィス)
- 2) 指定管理施設から排出されるCO₂の77.4%は電力の使用に伴うもので505,221kg-CO₂(前年比0.1%増)、次いで灯油の消費に伴うものが14.3%、93,328kg-CO₂(前年比14.5%減)、A重油の消費に伴うものが8.2%、53,602kg-CO₂(前年比5.9%減)などとなっています。
- 3) 電力は事務所の照明、冷暖房の稼働で使用しています。また、灯油、A重油は空調機ボイラー運転、事務所の暖房用、LPGは事務所給湯用となっています。
- 4) 月別のCO₂発生量は7月、8月の夏期間と12月~3月の冬期間(降雪期)に多くなっています。これは、冷暖房用の空調機を使用する機会が増えること、融雪用の地下水の引き上げポンプ(市営体育館)などそして、主に暖房として灯油、A重油の消費量が増加するためです。
- 5) 以上のことから、特に電力使用量の削減が重点課題であるとなりますが、指定管理施設のように施設の利用によって電力使用量が大きく影響されるので、照明器具のLED化などによる省エネ機器への交換などを行政に提案し、実施していくことが必要であると思います。

<二酸化炭素の排出源(H30年度)>



<月別二酸化炭素排出量(H30年度)>



■ 廃棄物排出量

- 一般廃棄物:可燃ごみ、紙類(資源回収対象)などは、行政の分別ルールに従い、それぞれ、量を把握した上で排出しています。可燃ごみが最も多く、4,693kg、次いで紙類(再生資源)が3,191kgとなっていました。特に米沢市の職員が入っている置賜総合文化センターは紙類の排出が2,431kgと約8割を占めています。リサイクル率は43.4%となっていました。
- 産業廃棄物:総排出量の89%が汚泥でした。特に置賜総合文化センターの汚泥がそのうちの98%を占めています。次に多かったのは、廃蛍光灯で約1%でした。児童会館や文化会館はLED化が進行中なので排出量は少ないが、体育館はそのうち66kg(77.8%)を占めていました。文化センターで米沢市のゴミのルールに従って蛍光灯は産業廃棄物でなく、不燃ごみとして処分しています。

■ 総排水量(水使用量)

市営体育館、文化センターで融雪用に地下水を利用していますが、量は把握できません。水道は、すべて生活用水となります。総合計6,396m³使用しました。なお、放流先は全て下水となります。文化センターは稼働日が多く、また、米沢市職員が入っているため、水の使用量は多く、全体の7割を占める4,446m³となっております。

■ 化学物質使用量(購入量)

該当する物質について、本社・南陽営業所データに含まれています。

※各指定管理施設の環境活動レポートはこちらのQRコードから閲覧いただけます。



米沢市市民文化会館



米沢市児童会館



米沢市営体育館



置賜総合文化センター



南陽市勤労者総合福祉センター



6. 環境関連法規等の遵守状況、 訴訟等の有無



6-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況

当社が法的義務を受ける環境関連法規の遵守状況は、平成30年4月に関連法規一覧にまとめ、確認した結果、違反はありませんでした。

- 環境基本法等：問題なし
- フロン排出抑制法：問題なし
- 水質汚濁防止法（貯油施設）：問題なし
- 浄化槽法：問題なし
- 下水道法：問題なし
- 自動車リサイクル法：問題なし
- 家電リサイクル法：問題なし

6-2. 法令違反・訴訟等の有無

行政からの環境関連法令違反の指摘・指導、環境面での訴訟は、創業以来ありません。

7. 代表者による見直しの結果



平成28年12月2日にエコアクション21の認証登録を受けて、初めての更新審査が行われ、大きな指摘事項はなく無事に終わることができました。また、2017ガイドラインへの移行も無事に終わり、ほっとしております。エコアクション21の取組は、エコアクション21推進委員会を中心に取組んでおり、平成30年度は「第22回環境コミュニケーション大賞優良賞」の受賞というとてもうれしいニュースがありました。

平成30年度の取組の結果について、環境負荷の大きいガソリン使用量が増加したのは、軽油車両からの入れ替えや、新規物件を獲得したことにより、平成29年度と比べ、走行距離が大幅に増えたためであると考えています。一方、冬期間暖房に使用する灯油の使用量は減少し、エコアクションに取組以来初めて目標を達成することができました。昨年度に比べ暖冬だったことが大きな要因と思いますが、平成29年度から取り組んでいる「窓へ緩衝材を貼り付け」たことで、暖房温度を適正に管理することができた結果だと思えます。しかしこれまでのソフト面だけの取組では限界が見えてきているので「窓の二重サッシ化」「省エネタイプのアコンへ入れ替え」「エコカーへの切り替え」などのハード面での対策も必要であると考えています。

新たな取組として、エービーエムの活動を家庭へ裾野を広げるべく取り組んだ「家庭のアクション」や、社員からエコアイデアを募集し、表彰する「エコアクション大賞」を行いました。社員の多くが参加し、エービーエムならではの取組が出来たのではと考えております。

平成30年度から全指定管理施設がエコアクション21に組み込まれ、施設環境管理責任者を中心とした実施体制のもと、各施設特色のある「環境掲示板」を作成するなど、取組が見られました。環境負荷面においても、CO₂の排出量削減されるなど、お客様の環境負荷削減に貢献することができました。平成31年度も引き続き、経営側としてしっかりと支援してまいります。

株式会社 エービーエム 代表取締役社長 赤間俊明





いざ参加！指定管理の意気込み！

環境コミュニケーションレポート「エコロジーVol24」より

いよいよ、今年度から対象から外されていた指定管理施設5施設（米沢市市民文化会館、米沢市児童会館、米沢市営体育館、置賜総合文化センター、南陽市勤労者総合福祉センター）がエコアクション21に組み込まれることになりました。そこで、各施設の責任者にエコアクション21に取り組むに当たっての意気込みやポイントなどをお聞きました。

◆米沢市市民文化会館 教間マネージャー

初年度の今年は基本項目の中から二酸化炭素排出量（電力・灯油）、廃棄物、グリーン購入について力を入れて取り組んでまいりたいと思います。こういった取組みが効果的かなど、様々なことにチャレンジし、楽しみながら積極的にエコアクション21に取り組んでまいります。そのために、改めてエコアクション21に対する理解を深め、スタッフ間においても知識や意識の共有を図れるように努力してまいります。

◆米沢市児童会館 加藤館長

児童会館は多くの利用者が来館される施設です。施設利用の妨げになることなく、スタッフが出来ることから取組を行います。一般廃棄物の削減や、グリーン商品の購入に取組み、これまで児童会館で行ってきた、「エコキャップ」活動によるCO₂削減を継続強化してまいります。

◆米沢市営体育館 手塚マネージャー

今までも節水、節電には心がけていますが、これまで以上にスタッフはもちろんですが、利用者の方にも協力を頂けるように呼びかけていきたいと思ひます。また、ゴミの排出量削減についてもゴミの持ち帰りに協力いただけるよう貼紙などで周知していきたいと思ひます。

◆置賜総合文化センター 加藤マネージャー

平成30年度の目標は「照明のLED化推進とゴミ箱の削減」です。照明改修時にはLEDに交換改修いたします。共有フロアのゴミ箱の数は燃えるゴミ用10個、燃えないゴミ用2個、プラゴミ用8個、ペットボトル用8個、ビン・缶用7個の合計35個あります。施設の利用者にはゴミの持ち帰りをお願いしていますので、市と協議しながらゴミ箱の配置の工夫とゴミ箱削減に向けて取り組んでまいります。

◆南陽市勤労者総合福祉センター 五十嵐南陽営業所所長

ワトワセンターの環境負荷の現状としては、冷暖房の空調設備の燃料として使用している灯油が二酸化炭素排出量の大部分を占めていることがわかりました。利用件数に応じて各エネルギーの使用量が左右されるため、数値の削減を達成し続けていくのは厳しいかもしれませんが、まずは無駄な部分を着実に削減していくよう取り組んでまいります。

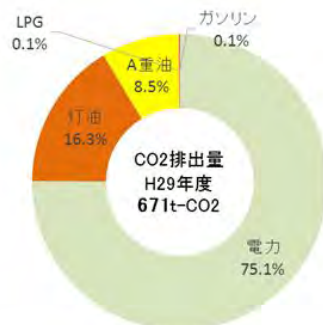
指定管理施設の現地視察を実施！

環境コミュニケーションレポート「エコロジーVol27」より

平成30年度からエービーエムのエコアクション21の取組に5つの指定管理施設（米沢市市民文化会館・米沢市児童会館・米沢市営体育館・置賜総合文化センター・南陽市勤労者総合福祉センター）が含まれ、これでエービーエム全体でエコアクション21に取り組むことになりました。指定管理施設は、本社や南陽と違い、二酸化炭素排出量の割合で大きく占めるのは電力で75.1%だったので、この電力使用量を削減することが重点課題となっています。また、ゴミの排出量も4,598kgとなっており、本社や南陽営業所の約10倍近くあり、利用者へのゴミの持ち帰りなども課題となっております。

そこで、先月のEA21委員会では、指定管理施設であり、EA21委員会メンバーである手塚マネージャーが勤務する米沢市営体育館を現地視察いたしました。

現地視察終えて、手塚マネージャーにヒヤリングをしたところ、「利用者があるので、なかなか節電も、ゴミの削減も難しいが、これから施設の取組をしっかりとアピールすることで、利用者の協力を得て、エコアクション21を成功させていきたい」との強い意気込みをいただきました。この視察は順次行ってまいりますので、よろしくお願ひいたします。



<指定管理施設5施設の排出源（H29）>





環境コミュニケーション大賞優良賞受賞!

環境コミュニケーションレポート「エーコロジ- Vol133」より

平成30年5月に発行した、エービーエム環境活動レポートが、環境省・一般財団法人地球・人間フォーラム主催 第22回環境コミュニケーション大賞 優良賞を受賞しました。この環境コミュニケーション大賞というのは、優れた環境報告書等や環境活動レポートを表彰することにより、事業者等の環境コミュニケーションへの取り組みを促進するとともに、その質の向上を図ることを目的とする表彰制度で、第22回は、環境報告書部門196点、環境経営レポート部門118点、合わせて314点の応募がありました。今回環境報告大賞を受賞したのは、あの「トヨタ自動車株式会社」で大企業も真剣に環境に取り組まなければ、お客様や株主から信頼されない時代になっているのが、伝わってきました。環境経営レポート部門の大賞は「来ハトメ工業株式会社」で、こちらの会社は過去にも優秀賞や大賞を受賞しており、手作り感とオリジナル性が随所に見られる創意工夫された環境レポートでした。今回初めて応募したレポートが賞を受賞したことは大変うれしいことですが、まだまだ課題は沢山あり、逆に伸びしろはいっぱいあると受け止め、次回はもっと上の賞がもらえるように取り組んでまいります。



第22回優良賞
環境活動レポート

第22回環境大臣賞
来ハトメ工業様環境活動レポート

What's A-cology (えーころじー) ?



環境省が定めた「エコアクション21」という環境マネジメントシステムを導入し、その認証登録をいたしました。全社員がこの「エコアクション21」への理解を深め、より楽しくエコ活動を進めていただけるように、環境活動情報をこの「A-cology (えーころじー)」で発信してまいります。このA-cologyは管理している指定管理施設などから発行される広報誌などの裏紙を再利用して発行しております。



代表取締役社長

赤間俊明のSDGs！

昨年度、「第22回環境コミュニケーション大賞優良賞を受賞し、環境への取組が推進委員会の努力によって、社員全体に浸透していることを実感し、経営基盤の大きな柱になったことに経営者として大きな自信と大きな力をいただきました。



目標1 環境行動指針5「化学物質の使用量を削減」に対して、業務の効率化を図ります。

具体的には、清掃業務において究極の環境対応型洗浄液である「強アルカリイオン電解水」の生成、使用します。

目標2 環境行動指針8「地域の環境保全活動に貢献する」に対して、指定管理施設や各施設で実施している清掃活動に自ら参加します。



強アルカリイオン電解水生成機



A-cology

号外

H30推進委員のSDGs！

環境管理責任者 田口浩之



環境管理責任者として、会社の環境面での課題を把握し、会社へ改善を働きかけてまいります。

副環境管理責任者 遠藤雅之



社員280名1人1人がエコアクション、SDGsを理解し、積極的な環境負荷削減の意識付けを徹底していく為に、様々な角度からエコに対する情報を全社員に発信していきます。

副環境管理責任者 五十嵐久人



社員1人1人が自発的にエコアクション21に取り組むことができるような環境づくりを推進していきます。同時に全員にSDGsのどれか1項目だけでも意識し、行動してもらえるような体制を構築していきます。

環境事務局 佐久間水里



グリーン商品の紹介とその使用方法と分別方法の周知を図ることで、ゴミの削減に努めたいと思います。

環境事務局 嶋津優美



ただ「減らすこと」だけを目標にするのではなく、社員1人1人が「何のためにその活動を行うのか」「自分がすべきこと、できることは何か」と、意識しながら活動してもらえるような環境づくりに取り組んで行きたいと思います。



車両管理 遠藤千尋



車両の燃費やエコ運転についての意識を再確認し、1人1人アイドリングストップを心がけ、CO₂排出を削減。また誤発報などによる出勤回数も減らせるように取り組みたいと思います。

車両管理 清水達謙



昨年よりも燃費の向上を目指します。エコドライブを意識し、各人無理のない範囲での向上を目指し、取り組んで行きたいと思います。

省エネルギー 鈴木正行



前年度、目標にした洗濯機の使用状況(水道の使用状況)について、記録を取れなかったため、再挑戦したいと思います。

省エネルギー 嶋貫穂乃香



電気の使用量を減らすこと、なるべくゴミの分別をし、より良い環境を作ることです。エコというのは1人1人の意識がないと出来ません。そこで皆がどのようにすれば取り組んでいけるのか、しっかり考えて行きたいと思います。

廃棄物管理 追木恵美



ゴミの分別を徹底するために、勉強会などを行い、1人1人のゴミ分別に対する意識付けを図って行きたいと思います。

廃棄物管理 松本次保



食品ロスをなくしたいと思います。スーパーなどで買ってきても食べきれないで、つい捨ててしまうことが多々あるので、もったいないと思うようになりました。出来るだけ食品を無駄にしないよう取り組みたいです。



地域貢献・環境美化・5S 手塚直利



本社及び指定管理施設で行っている施設周辺の清掃活動の継続と外部団体で開催しているボランティア活動へ積極的に参加し、住みやすいきれいな街を目指して行きたいと思います。

地域貢献・環境美化・5S 五十嵐俊亮



環境美化活動に参加する人の意識を会社の参加する活動だから取り組むのではなく、綺麗な街にするため、気持ちよい環境を作るために参加するという意識に変えて行きたいです。

指定管理施設のSDGs!

米沢市市民文化会館 数間 淳祐



消費電力削減に力を入れて行くために、館内掲示物による利用者様への周知やスタッフ間での削減のための知識や意識の共有を図り、積極的に取り組んで行きたいと思います。また、二酸化炭素排出量削減のために、その他様々な取組みを行って行きたいと思っています。

米沢市児童会館 加藤 俊彦



一般廃棄物の分別によるリサイクル率の向上や節電等による二酸化炭素排出量削減、エコキャップリサイクル活動の継続を重点的に行っていきたいと思っています。

がんばれよ！



米沢市市民文化会館キャラクター「みっぺ君」

米沢市営体育館 手塚 直利



今年度は、地球温暖化対策として館内の蛍光灯をLEDへ切り替えることにより、二酸化炭素排出量を削減していきたいと考えています。

置賜総合文化センター 加藤 恵美子



照明のLED化推進とリサイクル率の向上を図るため、照明改修時には、LEDに交換改修します。また利用者様がゴミの分別がしやすいようにゴミ箱の配置の工夫を行い、分別の徹底を行いたいと思います。ペットボトルを縮めて捨てる呼びかけを行うなどゴミの容量を減らし、ゴミ袋の削減を行います。

南陽市

勤労者総合福祉センター 五十嵐 久人



環境掲示板を活用し、様々な情報をワトワセンターから発信していきます。新たな取り組みとしてプルタブ回収などを実施したいと考えています。利用の皆様を通じ、地域全体の環境負荷削減に寄与していただけるようなワトワセンター発信型エコアクション21の活動を行っていきます。

そういえば...



エービーエムの管理する指定管理施設は平成30年度からPPSであるサミットエネルギーとグリーン電力を20%供給する契約を締結いたしました。これまで施設の規模でグリーン電力供給いただけなかった米沢市児童会館もグリーン電力供給先になりました。



環境コミュニケーション大賞優良賞



★安全衛生面で配慮された職場は作業効率も働く人のモチベーションも高く、環境にもやさしい職場です★

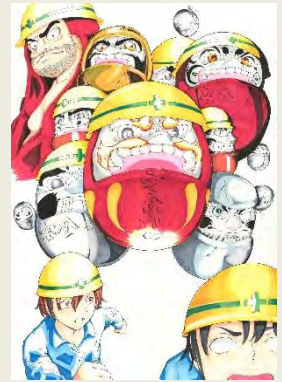
「安全衛生ポスターの部」



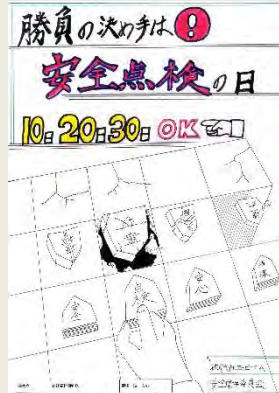
最優秀賞
米沢市市民文化会館勤務
鈴木 小百合さん



優秀賞 管制本部勤務 遠藤千尋さん



優秀賞 小森マシナリー勤務
高橋宏太さん



優秀賞 本社業務課 蓮沼誠さん

今年も力作が
揃いました

「安全衛生標語・川柳の部」

平成30年度安全衛生標語
会長賞 大沼米沢店勤務 青木仁一さん
「ゼロ災害 みんなの願いと 家族の笑顔」

平成30年度 川柳
社長賞 米沢市立病院勤務 村上 健寿さん
「背がかゆい むかし妻の手 いま柱」

「安全衛生論文の部」

平成30年度安全衛生論文
最優秀賞 米沢市立病院勤務 佐藤 定良さん 「労働災害防止について」



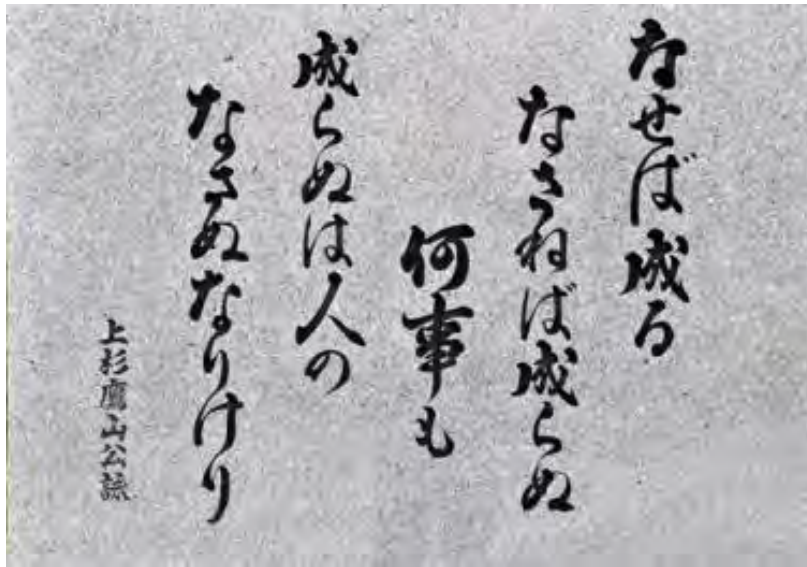
安全衛生委員会発行 セーフティファースト

HPでは過去の広報誌
「セーフティファースト」公開中
<http://y-abm.co.jp>
フェイスブックでも情報発信中

イイネ!!



安全も衛生も環境も・・・「三方良し」



この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。
 ご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。
 弊社HP (<http://www.y-abm.co.jp/>)、エコアクション21中央事務局
 のHP (<http://www.ea21.jp/>)でもご覧いただけます。

〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田584-2
 TEL0238-37-5733 FAX0238-37-2822
 Email : sale@y-abm.co.jp





株式会社

エービーエム

2018年度

環境経営レポート (米沢市市民文化会館)

2018年4月～2019年3月

発行日：2019年7月1日

豊かに快適な環境を求めて…



爽やかな笑顔、
真心のサービス



環境経営レポート部門



®環境省

エコアクション21
認証番号0011545



社 是

私達は、技術・知識の向上に努め
安全・安心・清潔のサービスをモットーに
快適な環境を社会へ提供します。

経 営 方 針

私達は お客様感動を達成します。
私達は 事故ゼロを継続します。
私達は 不祥事案を撲滅します。
私達は 環境方針を推進します。

環 境 経 営 方 針

環境理念

私たちは、ふるさとの豊かな環境を守り、持続可能な社会の実現を目指すため、環境マネジメントシステムの継続的な運用改善を図り、自らの環境負荷を可能な限り削減していくとともに、総合ビル管理、警備、指定管理等の業務を通じて、「安全・安心・清潔」に関する技術と真心サービスを提供しつつ、お客様の環境負荷の削減にも寄与してまいります。

環境行動指針

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 電力使用、化石燃料の消費に伴い発生する二酸化炭素を計画的に削減していきます。
3. 廃棄物を可能な限り削減するとともに分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます。
4. 節水に努め、水資源を大切にします。
5. 化学物質の使用量を削減していきます。
6. 社員のスキル向上により、業務の効率化を図り、他社との差別化を図ります。
7. お客様の環境負荷削減につながる提案を積極的に行い、可能な範囲で実践します。
8. 地域の環境保全活動に貢献します。

制定日:平成28年6月1日

最終改定日:令和元年5月1日

代表取締役社長 赤間俊明

2. 組織の概要



2-1. 事業者名及び代表者氏名

- 株式会社 エービーエム
- 代表取締役社長 赤間俊明

2-2. 所在地

- 本社：〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田 584-2
- 指定管理施設「米沢市市民文化会館」：〒992-0045 米沢市中央1-10-2

2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者：企画・人事部部長 田口浩之
- 施設環境管理責任者：数間淳祐
- 連絡先：TEL0238-23-8510 FAX0238-23-8511
- Email：info@yonebunka.jp

2-4. 施設概要

米沢市市民文化会館は昭和44年4月に市の中心市街地にオープンしました。自主事業や賃貸施設では優れた芸術鑑賞の場として、また、市民の皆さまの発表の場として広くご利用いただいております。
今後も、皆さまにますます親しみ愛される施設として、多くの方々のご利用をお待ちしております。

- 1969年（昭和44年）4月27日開館
- 構造：鉄骨コンクリート造り 地上3階建
- 施設内容：ホール（1,005席）、会議室（1室）
楽屋（3室）事務室 など
- 敷地面積：2087.01㎡ 建築面積：1527.14㎡
延床面積：2459.84㎡
- 常勤社員：6名（正社員4名、パート社員2名）
- 施設キャラクター：みっぺ



2-5. 施設利用状況

事業年度	平成27年度 (H27.4~H28.3)	平成28年度 (H28.4~H29.3)	平成29年度 (H29.4~H30.3)	平成30年度 (H30.4~H31.3)
事業規模				
利用料金収入額(円)	5,706,215	4,739,520	4,526,365	4,387,695
施設利用人数(人)	55,230	50,890	45,954	45,428
稼働率(%)	47.4	50.2	42.3	44.3

※H28年1月電気設備改修工事のため貸し館不可



3. 環境目標とその実績



3-1. 環境負荷の現状(平成30年度環境負荷自己チェック結果より)

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、H28年度東北電力(調整後:0.548)を用いています。

1) 当館における平成30年度のCO₂排出量は合計119,077kg-CO₂となっており、前年度比4.9%削減しました。これは平均的な一般家庭26軒分の排出量に相当します。(平成29年度1世帯あたりの平均年間排出量は4,480kg-CO₂: 出典: 温室効果ガスインベントリオフィス)

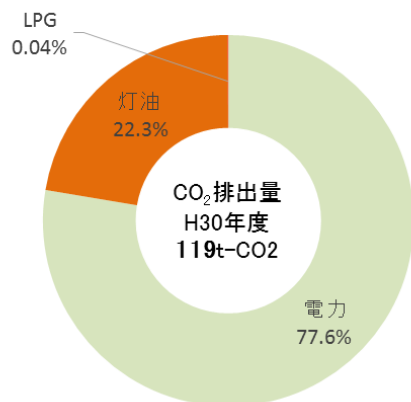
2) 当館から排出されるCO₂の77.6%は電力の使用に伴うもので92,453kg-CO₂(前年比1.9%増)、次いで灯油の消費に伴うものが22.3%、26,571kg-CO₂(前年比20.3%減)などとなっています。

3) 電力は事務所の照明、冷暖房の稼働で使用しています。また、灯油は空調機ボイラー運転、事務所の暖房用、LPGは給湯用となっています。

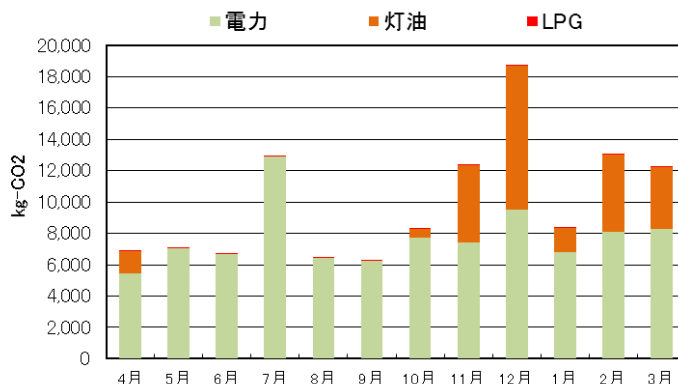
4) 月別のCO₂発生量は7月と12月~3月に多くなっています。これは、稼働率が高くなることにより、舞台照明器具や冷暖房用の空調機を使用する機会が増えること、また暖房として灯油の消費量が増加するためです。

5) 以上のことから、特に電力使用量の削減が重点課題であるとなりますが、当館のように施設の利用によって電力使用量が大きく影響されるので、照明器具のLED化(特に客電や舞台照明器具)などによる省エネ機器への交換などを行政に提案し、実施していくことが必要であると思います。

<二酸化炭素の排出源(H30年度)>



<月別二酸化炭素排出量(H30年度)>



■ 廃棄物排出量

■一般廃棄物: 可燃ごみ、紙類(資源回収対象)などは、行政の分別ルールに従い、それぞれ、量を把握した上で排出しています。紙類(再生資源)が最も多く303kg、次いで可燃ごみが255kg、その他不燃ごみで27kgでした。リサイクル率は53%となっていました。

可燃ごみのほとんどが利用者が排出するもので、利用者へのゴミの持ち帰りを協力いただくことで、排出量の削減につながっています。

■産業廃棄物: 最も多かったのは汚泥で27kg(62.9%)でした。続いて廃蛍光灯で6kg(22.2%)、廃乾電池3kg(11%)を排出いたしました。汚泥は毎年4月の雪解けに合わせて施設周辺清掃を行う際排出するものです。

■ 総排水量(水使用量)

上水のみ使用しており、年間457m³(前年度415m³)使用し、下水道に排出しております。昨年度より約10%増加しました。用途は生活排水(トイレ、手洗い)のほか、利用者が使用するシャワーも含まれます。

■ 化学物質使用量(購入量)

該当する物質について、本社・南陽営業所データに含まれています。



3-2. 環境目標（単年度・中期）と達成状況

環境経営方針との整合性を図りながら、環境負荷の自己チェックの結果を踏まえ、二酸化炭素、廃棄物、水、グリーン購入について、環境目標（単年度目標&5年間の中期目標）とその達成に向けた活動計画を策定し、取組を行いました。達成状況は下記のとおりです。

■ 二酸化炭素排出量（電 力）

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標（H30~R4）】 H29年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：H30.4~H31.3）

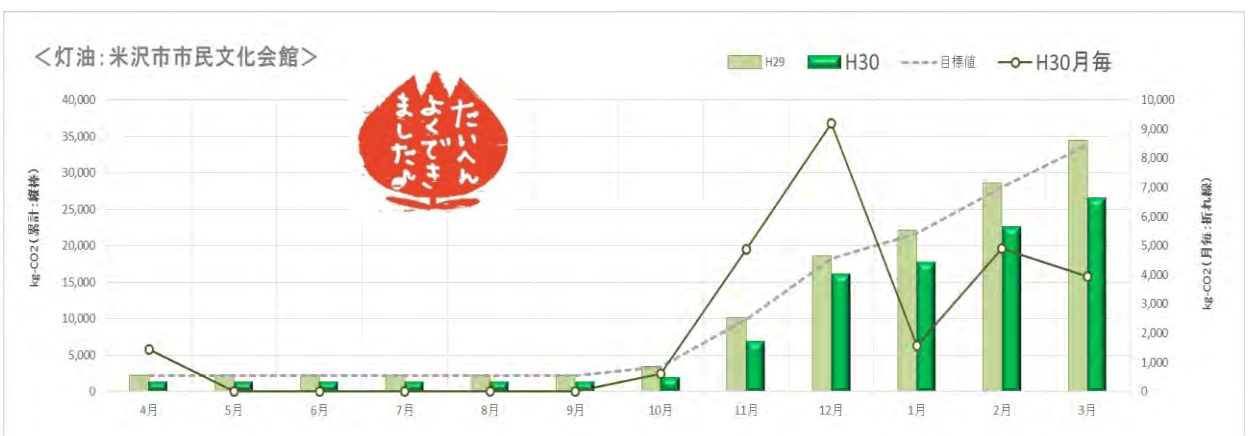
- 基準年度実績：90,663kg-CO₂
- 取組期間目標：88,850kg-CO₂
- 取組期間実績：92,453kg-CO₂
- 増減量：+1,789 kg-CO₂
- 増減率：+2.0%

【評価コメント】

7月の猛暑のため、冷房送風時間が昨年度より大幅に増加してしまいました。秋から冬にかけて稼働率が高くなり、舞台照明などの機器の使用が増えるのと同時に暖房も稼働することで、電力使用量が増加し目標達成できませんでした。

■ 二酸化炭素排出量（灯 油）

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標（H30~R4）】 H29年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：H30.4~H31.3）

- 基準年度実績：34,508kg-CO₂
- 取組期間目標：33,818 kg-CO₂
- 取組期間実績：26,571 kg-CO₂
- 増減量：-7,937 kg-CO₂
- 増減率：-23.0%

【評価コメント】

昨年度と比較して、暖冬だったためボイラー稼働時間が大幅減少し、結果大きく目標を達成することができました。

■ 二酸化炭素排出量 (LPG)

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比10%削減

<LPG:米沢市市民文化会館>



【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)

- 基準年度実績: 73.3kg-CO₂
- 取組期間目標: 71.9kg-CO₂
- 取組期間実績: 53.4kg-CO₂
- 増減量: -19.9kg-CO₂
- 増減率: -27.1%

【評価コメント】

取組当初は昨年度とほとんど使用量が変わらなかったのですが、貸館時の給湯室利用以外は極力ガスを控えることを徹底し、結果大幅に削減することが出来、目標を達成することが出来ました。

■ 水使用量

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比10%削減

<水:米沢市市民文化会館>



【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)

- 基準年度実績: 415 m³
- 取組期間目標: 407m³
- 取組期間実績: 457m³
- 増減量: +42 m³
- 増減率: +10.1%

【評価コメント】

節水協力のポップを作成し、利用者へ周知を試みたが、集客人数の多い本番物が多く、目標を達成することができませんでした。特に6月は学校の芸術鑑賞教室で多くの児童や生徒によるトイレ利用が重なり、総排水量も増加しました。

■ 一般廃棄物排出量

【H30年度目標】 H29年度比で排出量2%削減／リサイクル率2%向上
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比で排出量10%削減 リサイクル率10%向上

＜一般ゴミ/リサイクル率:米沢市市民文化会館＞



【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)

- 基準年度実績: 排出量 694kg リサイクル率 52%
- 取組期間目標: 排出量 680kg リサイクル率 54%
- 取組期間実績: 排出量 **597kg**
リサイクル率 **53%**
- 増減量: 排出量 -97kg リサイクル率 +1%
- 増減率: 排出量 -14%

【評価コメント】

利用者に対してゴミの持ち帰りについて声かけやポップによる協力を依頼し、後半以降それが浸透してきたため、目標を達成することができました。一方リサイクルゴミについて、コピー用紙、古紙などの排出量について裏紙の使用を徹底するなどで昨年度より削減した結果、リサイクル率は目標を達成することが出来ませんでした。

■ 産業廃棄物排出量

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比10%削減を維持



＜産業廃棄物:米沢市市民文化会館＞



【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)

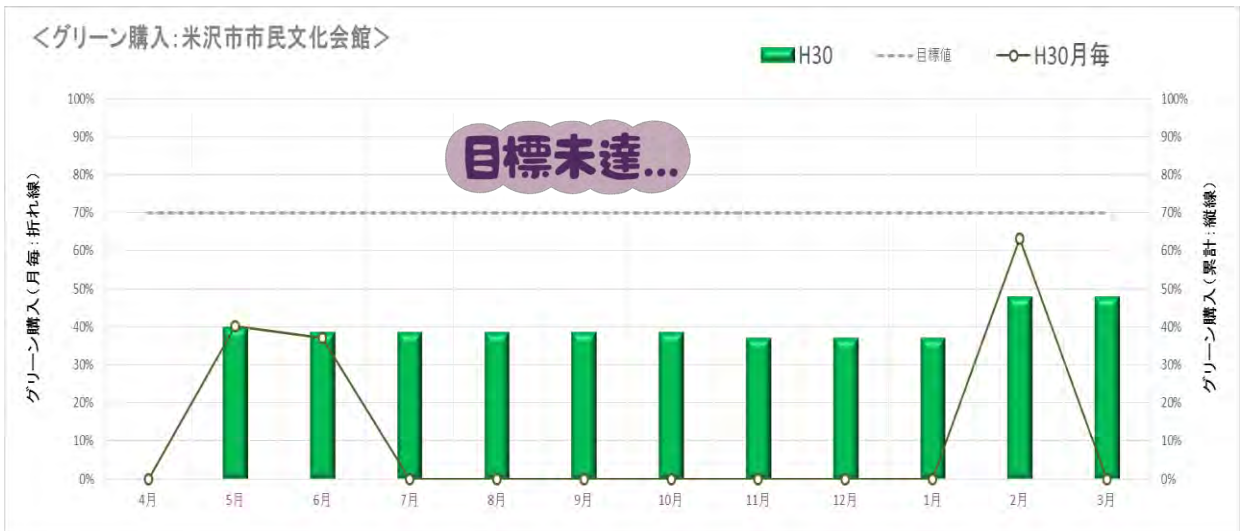
- 基準年度実績: 12.0 kg
- 取組期間目標: 11.7kg
- 取組期間実績: **26.6kg**
- 増減量: +14.6kg
- 増減率: +121%

【評価コメント】

毎年雪解けに合わせて施設周辺清掃を行っているが、その際汚泥が排出するが、今年は特に汚れがひどかったため、汚泥の排出量が多くなってしまいました。結果目標を達成することができませんでした。

■ グリーン購入

【H30年度目標】グリーン購入率70%以上
 【中期目標（H28～32）】グリーン購入率80%以上



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 取組期間目標：70%
- 取組期間実績：48%

【評価コメント】

消耗品はカタログを見て、グリーン購入を積極的に進めており、コピー用紙などはグリーン購入に切替ました。プリンターのインクなど、グリーン購入対象でなかったため、結果として目標を達成することが出来ませんでした。

自主事業について

米沢市市民文化会館キャラクター「みっぺ君」

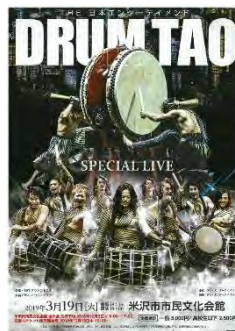
平成31年3月10日 子育て支援事業
ケロポンズ親子コンサート

子ども達に絶大の人気を誇る「ケロポンズ」当館には2回目の登場です。チケットは発売開始からまもなく完売。当日は多くの親子が来館され、会場は冬にも関わらず子ども達の熱気でムンムンでした。出演されたケロポンズのお二人も御満足いただけただようで公演後のツイッターにも感想を載せていただきました。



平成31年3月19日 DRUM TAO SPECIAL LIVE2019

世界800万人が熱狂している人気和太鼓集団「DRUM TAO」なんと今回で4年連続でした。こちらも、発売当初から問合せが殺到、4年連続ソールドアウトでした。今回は、北米ツアーを回ってきた若手メンバーが中心で構成されており、エネルギーが溢れるコンサートでした。アンコールはスタンディングオベーションでものすごい盛り上がりでした。



4. 環境活動計画と取組結果 並びに次年度の取組内容



<評価判定の目安>

- …実施済。80以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。
- △…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。
- ×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。(是正処置の対象)

環境経営 目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	備考、是正処置 の必要性等
二酸化炭素排出量 の削減	■消費電力の削減	■室温は、暖房期20℃、冷房期28℃で管理	○	○	○	○	
		■サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	-	-	-	-	購入を検討
		■使用していない部屋のエアコンはOFF	○	○	○	○	
		■定期的にエアコンのフィルターを清掃	○	△	△	○	
		■不要な照明は消灯	○	○	○	○	利用者へ掲示物による節電呼びかけ
		■クールビズの推進(機能性下着の着用)	○	○	△	△	
		■ウォームビズの推進(保温性の高い下着の着用)	△	△	○	○	
		■パソコンは省エネモードで使用	○	○	○	○	
		■トイレの暖房便座は夏期OFF(温水の温度設定は「低」)	○	○	△	△	
		■グリーンカーテン	○	○	△	△	
	■その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	■窓にすだれを垂らし、直射日光を防ぐ	△	△	△	△	
		■暖房温度は決められた温度以下で管理する。	○	○	○	○	
		■窓の内側に断熱材を貼り付ける	-	-	-	○	プチプチ使用
		■ウォームビズの徹底(服装による省エネ推進)	○	○	○	○	
廃棄物排出量 の削減と適正管理	■一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	■必要最低限の温度で給湯(夏期は使用しない)	○	○	○	○	
		■廃棄物置場の整理整頓	△	△	○	○	
		■不要な資料・カタログ等の辞退・返却	△	△	○	○	
		■コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)	○	○	○	○	
		■一般廃棄物の排出量記録	○	○	○	○	
	■産業廃棄物の削減と 適正管理	■社内の整理整頓	○	○	○	○	
		■保管場所の管理(安全衛生状態も含む)	○	○	○	○	
		■充電式乾電池への転換	○	○	○	○	
		■マニフェスト・契約書類の管理	○	○	○	○	
		■「節水」の掲示	△	△	○	○	
総排水量 の削減	■水道使用量の削減	■蛇口元栓の調整(必要最小限の流量)	○	○	○	○	
		■地下水の適正利用基準の策定と遵守	△	△	△	△	
		■その他節水対策機器に関する情報収集	○	○	○	○	
		■グリーン購入	○	○	○	○	
グリーン 購入	■グリーン購入	■グリーン購入ネットワーク(GPN)認定商品(エコ商品)の選定	○	○	○	○	
		■事務消耗品のエコ商品購入率の把握	○	○	○	○	
	■社員のスキルアップ	■資格取得者の増加	-	-	-	-	
		■社内研修会・勉強会の開催、テキスト参考書購入補助	○	○	○	○	新人研修参加、CD研修会参加
		■誤発報による緊急出動回数を減らす	○	○	○	○	
自主設定項目 (製品サービス関連)	■会社周辺の清掃活動	■開始開錠ミスを減らすように教育する。	○	○	○	○	
	■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施	○	○	△	△	スタッフミーティング前に実施	

多くの計画は実施することができましたが、一部未実施の計画がありました。エアコンのフィルターの清掃について、7～9月期と10～12月期は会館の稼働率が高く、エアコンフィルター清掃に手が回りませんでした。廃棄物置場の整理整頓は10～12月期にようやく着手することができ、廃蛍光灯を保管する保管箱と、ゴミ置場をスタッフで作成いたしました。その他、社員のスキルアップとして新人研修会のほか、CD研修会にスタッフが参加し、資質向上を図りました。会社周辺の清掃活動は、施設スタッフミーティング(毎月1回実施)の15分前に、スタッフ全員で降雪するまで毎月実施いたしました。



6. 環境関連法規等の遵守状況、 訴訟等の有無



6-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況

当社が法的義務を受ける環境関連法規の遵守状況は、平成30年4月に関連法規一覧にまとめ、確認した結果、違反はありませんでした。

- 環境基本法等：問題なし
 - 大気汚染防止法：問題なし
 - ボイラー及び圧力容器安全規則：問題なし
 - 水質汚濁防止法（貯油施設）：問題なし（訓練未実施だったため、H30年度中に実施済）
 - 下水道法：問題なし
 - 消防関係：問題なし
 - 廃棄物の処理及び清掃に関する法律：問題なし
 - フロン排出抑制法：問題なし
- ※当館の空調機器は、定格出力7.5kw～50kwの空調機器のため、定期検査は3年1回実施と
いうことを確認いたしました。
簡易定期点検は3ヶ月1回実施しております。
- 下水道法：問題なし
 - 家電リサイクル法：問題なし
 - 米沢市環境マネジメントシステム：問題なし

6-2. 法令違反・訴訟等の有無

行政からの環境関連法令違反の指摘・指導、環境面での訴訟は、創業以来ありません。

7. 代表者による見直しの結果



平成30年度から、対象外であった指定管理施設がエコアクション21の取組に参加し、12月の更新審査において、指定管理施設の取組が評価され、無事更新することができ、これで全組織でエコアクション21の取組がスタートしました。その中で米沢市市民文化会館は、更新審査時の現地視察の対象施設になりましたが、環境掲示板や、利用者への省エネ、節水の呼びかけのポップなど環境コミュニケーションに高い評価をいただきました。

一方、環境関連法規の取りまとめや、緊急時を想定した対応策については、認識が甘い部分もありましたが、早急に緊急訓練など対応していただきました。

どの指定管理施設にもいえることですが、施設の利用が増えることで環境負荷が増加してしまうというジレンマはありますが、その中でも、利用者へのポップや、文化会館マスコットキャラクター「みっぺ」を活かした環境掲示板など、利用者への協力を積極的に呼びかけている取組は、このまま継続してもらいたい。

来年度以降は、照明のLED化など、行政の環境負荷につながる提案をすることで更なるCO₂削減に寄与してまいります。

株式会社 エービーエム 代表取締役社長 赤間俊明

8. 環境コミュニケーションの取組



みんなで雪燈籠をつくりました



平成30年度株式会社エービーエム安全衛生ポスター
最優秀賞 文化会館勤務 鈴木 小百合さん

この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は、窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。
米沢市市民文化会館HP (<http://yonebunka.jp>)
指定管理者株式会社エービーエムHP (<http://www.y-abm.co.jp/>)
エコアクション21中央事務局HP (<http://www.ea21.jp/>)
でもご覧いただけます。

ツイッターも
みてみっぺ
twitter.com/yonebunka

〒992-0045 山形県米沢市中央1-10-2
TEL0238-23-8510 FAX0238-23-8511
Email : info@yonebunka.jp





株式会社

エービーエム

2018年度

環境経営レポート (米沢市児童会館)

2018年4月～2019年3月

発行日：2019年7月1日

豊かに快適な環境を求めて…



爽やかな笑顔、
真心のサービス



環境経営レポート部門



®環境省

エコアクション21
認証番号0011545





社 是

私達は、技術・知識の向上に努め
安全・安心・清潔のサービスをモットーに
快適な環境を社会へ提供します。

経 営 方 針

私達は お客様感動を達成します。
私達は 事故ゼロを継続します。
私達は 不祥事案を撲滅します。
私達は 環境方針を推進します。

環 境 経 営 方 針

環境理念

私たちは、ふるさとの豊かな環境を守り、持続可能な社会の実現を目指すため、環境マネジメントシステムの継続的な運用改善を図り、自らの環境負荷を可能な限り削減していくとともに、総合ビル管理、警備、指定管理等の業務を通じて、「安全・安心・清潔」に関する技術と真心サービスを提供しつつ、お客様の環境負荷の削減にも寄与してまいります。

環境行動指針

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 電力使用、化石燃料の消費に伴い発生する二酸化炭素を計画的に削減していきます。
3. 廃棄物を可能な限り削減するとともに分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます。
4. 節水に努め、水資源を大切にします。
5. 化学物質の使用量を削減していきます。
6. 社員のスキル向上により、業務の効率化を図り、他社との差別化を図ります。
7. お客様の環境負荷削減につながる提案を積極的に行い、可能な範囲で実践します。
8. 地域の環境保全活動に貢献します。

制定日：平成28年6月1日

最終改定日：令和元年5月1日

代表取締役社長 赤間俊明

2. 組織の概要



2-1. 事業者名及び代表者氏名

- 株式会社 エービーエム
- 代表取締役社長 赤間 俊明

2-2. 所在地

- 本社 〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田 584-2
- 指定管理施設「米沢市児童会館」：〒992-0052 米沢市丸の内1-3-47

2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者：企画・人事部部长 田口 浩之
- 施設環境管理責任者：加藤 俊彦
- 連絡先：TEL0238-23-0161 FAX0238-21-7494
- Email：info@yonejidou.jp

2-4. 施設概要

どなたでも自由に来館して遊んだり、学んだりするところです。土曜日、日曜日、祝日は各種クラブや講座、プラネタリウムの投映を行っています。置賜地区唯一のプラネタリウム施設は五藤光学で制作された最新型の光学・デジタル併用のプラネタリウム「PANDORA II」です。それぞれの年齢にあわせたメニューで皆様のお越しをお待ちしております。

- 1983年（昭和58年）10月1日開設
- 構造：鉄骨コンクリート造り 地上2階建
- 施設内容：多目的ホール、工作室、ロビー、図書コーナー、音楽室、プラネタリウム室、事務室など
- 規模：1716.55㎡
- 常勤社員：6名（正社員4名、パート社員3名）
- 施設キャラクター：ようざんくん



2-5. 施設利用状況

事業年度	平成27年度 (H27.4~H28.3)	平成28年度 (H28.4~H29.3)	平成29年度 (H29.4~H30.3)	平成30年度 (H30.4~H31.3)
事業規模				
施設利用人数(人)	81,947	78,540	75,436	70,556
うちプラネタリウム観覧者	9,306	7,833	6,993	6,628



3. 環境目標とその実績



3-1. 環境負荷の現状(平成30年度環境負荷自己チェック結果より)

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、H28年度東北電力(調整後:0.548)を用いています。

1) 当館における平成30年度のCO₂排出量は合計65,660kg-CO₂となっており、前年度比9%削減しました。これは平均的な一般家庭14軒分の排出量に相当します。(平成29年度1世帯あたりの平均年間排出量は4,480kg-CO₂: 出典: 温室効果ガスインベントリオフィス)

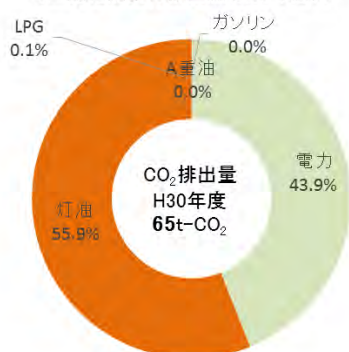
2) 当館から排出されるCO₂の55.9%は灯油の使用に伴うもので36,676kg-CO₂(前年比9.7%減)、次いで電力の消費に伴うものが43.9%、28,838kg-CO₂(前年比7.1%減)などとなっています。

3) 電力は事務所の照明、冷暖房の稼働で使用しています。また、灯油は空調機ボイラー運転、事務所の暖房用、LPGは給湯用となっています。

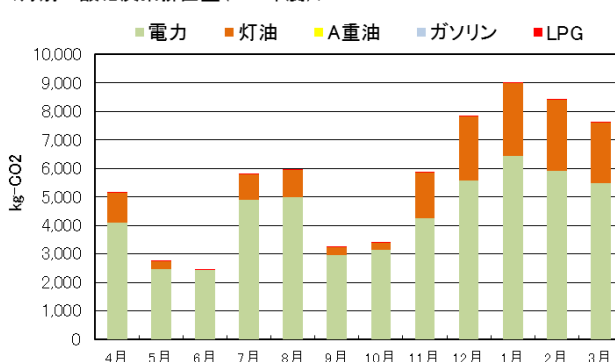
4) 月別のCO₂発生量は夏期の7月、8月と冬期間11月~3月に多くなっています。これは、当館の空調機は吸収冷温水機を使用しているため、冷房時、暖房時ともに灯油を使用するため、同時に電気を使用するため、増加するためです。また、7月、8月は開館時間を30分延長していることも理由に考えられます。

5) 以上のことから、灯油使用量の削減と電力使用量の削減が重点課題であるとなりますが、当館は照明器具のLED化を積極的に実施しており、ほぼ館内の照明はLED化しているため、空調機の切替時には、省エネ機器への交換などを行政に提案し、実施していくことが必要であると思います。

<二酸化炭素の排出源(H30年度)>



<月別二酸化炭素排出量(H30年度)>



■ 廃棄物排出量

■一般廃棄物: 可燃ごみ、紙類(資源回収対象)などは、行政の分別ルールに従い、それぞれ、量を把握した上で排出しています。紙類(再生資源)が最も多く265kg、次いで可燃ごみが193kg、その他不燃ごみで34kgでした。リサイクル率は57%となっていました。

可燃ごみは利用者の持ち込みのゴミや、従業員の持ち込みはほとんどなく主にシュレッダーゴミで、講座などの個人情報の入った書類はシュレッダーをかけているためです。

■産業廃棄物: 最も多かったのは廃プラで主に壊れて使用できなくなった遊具を排出したものです。

■ 総排水量(水使用量)

上水のみ使用しており、年間633m³(前年度718m³)使用し、下水道に排出しております。昨年度より11%減少しました。用途は生活排水(トイレ、手洗い)のほか、花壇の水遣りなどです。

■ 化学物質使用量(購入量)

該当する物質について、本社・南陽営業所データに含まれています。



3-2. 環境目標（単年度・中期）と達成状況

環境経営方針との整合性を図りながら、環境負荷の自己チェックの結果を踏まえ、二酸化炭素、廃棄物、水、グリーン購入について、環境目標（単年度目標&5年間の中期目標）とその達成に向けた活動計画を策定し、取組を行いました。達成状況は下記のとおりです。

■ 二酸化炭素排出量（電 力）

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

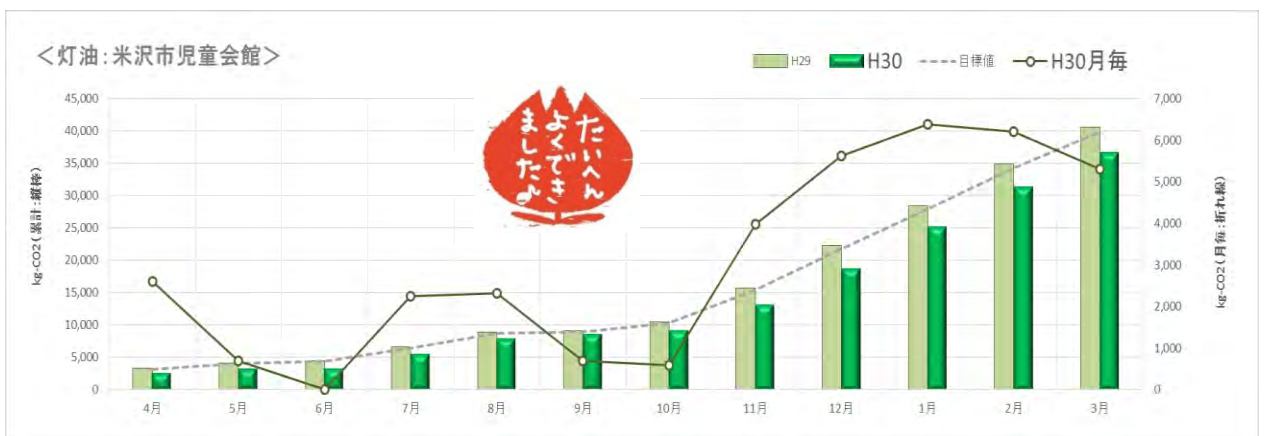
- 基準年度実績：31,051kg-CO₂
- 取組期間目標：30,430kg-CO₂
- 取組期間実績：28,838kg-CO₂
- 増減量：-2213 kg-CO₂
- 増減率：-7.1%

【評価コメント】

2階廊下、音楽室の照明をLED化し、ホールの冷暖房もお客様の快適性に影響のない程度で削減し、また、利用者へも節電の省エネへの周知を行った結果、目標達成することができました。

■ 二酸化炭素排出量（灯 油）

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 基準年度実績：40,613kg-CO₂
- 取組期間目標：39,801 kg-CO₂
- 取組期間実績：36,676 kg-CO₂
- 増減量：-3,937 kg-CO₂
- 増減率：-9.7%

【評価コメント】

昨年度と比較して、暖冬だったため暖房稼働時間が大幅減少し、結果大きく目標を達成することができました。

■ 二酸化炭素排出量 (LPG)

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比10%削減

<LPG:米沢市児童会館>



【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)

- 基準年度実績: 159.7kg-CO₂
- 取組期間目標: 156.5kg-CO₂
- 取組期間実績: 145.4kg-CO₂
- 増減量: -14.3kg-CO₂
- 増減率: -8.9%

【評価コメント】

これまで、お湯を沸かす際は毎日やかんで湯を沸かしていたが、電気ポットに切替え、また、スタッフの省エネ意識が浸透し、結果削減に成功、目標を達成することが出来ました。

■ 水使用量

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比10%削減

<水:米沢市児童会館>



【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)

- 基準年度実績: 730 m³
- 取組期間目標: 715m³
- 取組期間実績: 633m³
- 増減量: -97 m³
- 増減率: -13.3%

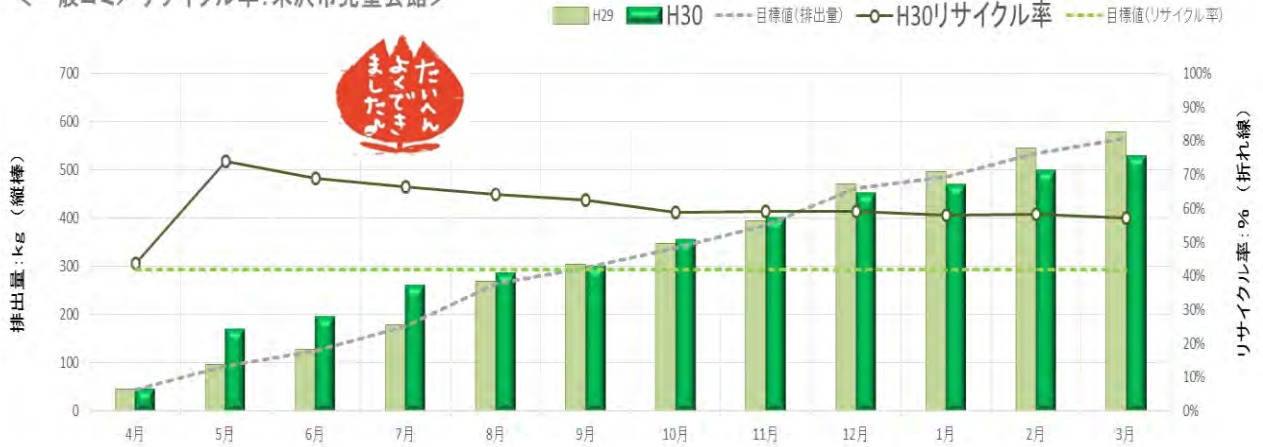
【評価コメント】

スタッフの節水意識や館内の掲示などで、節水を周知したこと、また昨年度より若干来館者数が減少したことで結果目標を達成することができました。

■ 一般廃棄物排出量

【H30年度目標】 H29年度比で排出量2%削減／リサイクル率2%向上
 【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比で排出量10%削減 リサイクル率10%向上

＜一般ゴミ/リサイクル率:米沢市児童会館＞



【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)

- 基準年度実績: 排出量 578kg リサイクル率 40%
- 取組期間目標: 排出量 566kg リサイクル率 42%
- 取組期間実績: 排出量 529kg
リサイクル率 57%
- 増減量: 排出量 -49kg リサイクル率 +17%
- 増減率: 排出量 -8.4%

【評価コメント】

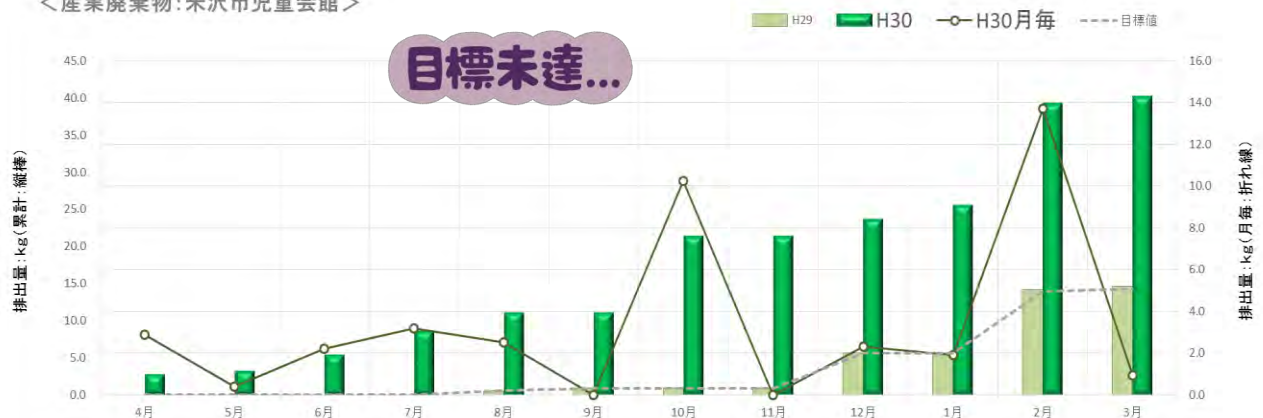
年度替りの整理をした際に書類の排出が増加し、前年度を越える月もありましたが、スタッフに再度、省エネ、再資源化を教育することで、トータルでは目標を達成することができました。また、排出したゴミの多くが古紙だったため、リサイクル率も高く、結果目標を達成することができました。

■ 産業廃棄物排出量

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比10%削減を維持



＜産業廃棄物:米沢市児童会館＞



【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)

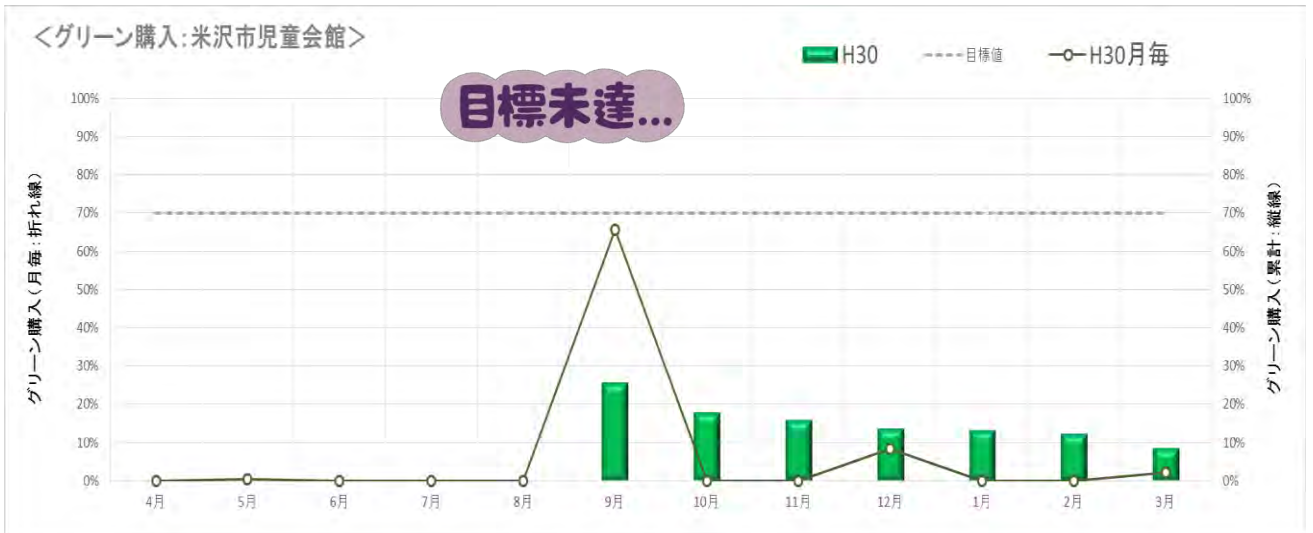
- 基準年度実績: 14.6 kg
- 取組期間目標: 14.0kg
- 取組期間実績: 40.3kg
- 増減量: +25.7kg
- 増減率: +176.2%

【評価コメント】

昨年度よりも大きく増加した原因は、壊れて使用できなくなった遊具を廃棄したこと、館内のLED化に伴い蛍光灯を廃棄したことです。結果、目標を達成することが出来ませんでした。

■ グリーン購入

【H30年度目標】グリーン購入率70%以上
 【中期目標（H28～32）】グリーン購入率80%以上



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 取組期間目標：70%
- 取組期間実績：9%

【評価コメント】

施設の特性によって購入したいものがグリーン商品でないことが多く、結果目標達成することができませんでした。

児童会館社会貢献活動

エコキャップ推進運動について

米沢市児童会館では、平成25年に開館30周年を記念してペットボトルのキャップを使ったキャップアートを作成したことをきっかけに、毎年、エコキャップ推進運動に取り組まれている山形銀行西米沢支店を通して「世界の子どもにワクチンを日本委員会」から発展途上国にワクチンを届けていただいています。

平成25年から寄贈したペットボトルキャップの総数は、平成30年度分を含めると、358,000個で、123人分のポリオワクチンを発展途上の子ども達に送ったこととなります。この活動は「世界の子どもにワクチンを日本委員会」によりますとSDGsの3、12、17に該当します。



山形銀行様HPより



	個数	ワクチン換算
H25	22,000	7
H26	24,000	8
H27	81,000	28
H28	96,000	33
H29	78,000	27
H30	57,000	20
合計	358,000	123



「世界の子どもにワクチンを日本委員会」HPより

4. 環境活動計画と取組結果 並びに次年度の取組内容



<評価判定の目安>

○…実施済。80%以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。

△…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。

×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。(是正処置の対象)

環境経営 目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	備考、是正処置 の必要性等
二酸化炭素 排出量	■消費電力の削減	■室温は、暖房期20℃、冷房期28℃で管理	○	○	○	○	
		■サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	-	-	-	-	
		■使用していない部屋のエアコンはOFF	○	○	○	○	
		■定期的にエアコンのフィルターを清掃	○	○	○	○	
		■不要な照明は消灯	○	○	○	○	利用者へ掲示物による周知開始
		■クールビズの推進(機能性下着の着用)	○	○	/	/	
		■ウォームビズの推進(保温性の高い下着の着用)	/	/	○	○	
		■パソコンは省エネモードで使用	○	○	○	○	
		■トイレの暖房便座は夏期OFF(温水の温度設定は「低」)	○	○	/	/	
		■グリーンカーテン	○	○	/	/	
	■窓にすだれを垂らし、直射日光を防ぐ	△	△	△	△		
	■その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	■暖房温度は決められた温度以下で管理する。	○	○	○	○	
		■窓の内側に断熱材を貼り付ける	-	-	-	-	
		■ウォームビズの徹底(服装による省エネ推進)	○	○	○	○	
■必要最低限の温度で給湯(夏期は使用しない)		○	○	○	○		
の削減と適正管理	■一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	■廃棄物置場の整理整頓	○	○	○	○	
		■不要な資料・カタログ等の辞退・返却	○	○	○	○	
		■コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)	○	○	○	○	
		■一般廃棄物の排出量記録	○	○	○	○	
	■産業廃棄物の削減と 適正管理	■社内の整理整頓	△	△	○	○	
		■保管場所の管理(安全衛生状態も含む)	○	○	○	○	
の削減	■水道使用量の削減	■充電式乾電池への転換	○	○	○	○	
		■マニフェスト・契約書類の管理	○	○	○	○	
		■「節水」の掲示	△	△	○	○	
		■蛇口元栓の調整(必要最小限の流量)	○	○	○	○	
購入	■グリーン購入	■地下水の適正利用基準の策定と遵守	/	/	/	/	
		■その他節水対策機器に関する情報収集	○	○	○	○	
		■グリーン購入ネットワーク(GPN)認定商品(エコ商品)の選定	×	△	×	×	是正対象
(製品サ ービス 関連)	■社員のスキルアップ	■事務消耗品のエコ商品購入率の把握	△	△	△	△	
		■資格取得者の増加	-	-	-	-	
	■誤発報による緊急出動回数を減らす	■社内研修会・勉強会の開催、テキスト参考書購入補助	○	○	○	○	新人研修等参加
	■会社周辺の清掃活動	■開始開錠ミスを減らすように教育する。	○	○	○	○	
		■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施	○	○	/	/	スタッフミーティング時に実施

多くの計画は実施することができましたが、一部未実施や、グリーン購入など是正が必要な項目がありました。窓にすだれを垂らす代わりに東側窓一面にグリーンカーテンを設置、夏の直射日光を遮るとともに、緑で涼しさを演出することができました。その他、社員のスキルアップとして新人研修会のほか、CD研修会にスタッフが参加し、資質向上を図りました。会社周辺の清掃活動は、施設スタッフミーティング(毎月1回実施)の15分前に、スタッフ全員で降雪するまで毎月実施いたしました。



6. 環境関連法規等の遵守状況、 訴訟等の有無



6-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況

当社が法的義務を受ける環境関連法規の遵守状況は、平成30年4月に関連法規一覧にまとめ、確認した結果、違反はありませんでした。

- 環境基本法等：問題なし
- 大気汚染防止法：問題なし
- ボイラー及び圧力容器安全規則：問題なし
- 水質汚濁防止法（貯油施設）：問題なし（訓練未実施だったため、H30年度中に実施済）
- 下水道法：問題なし
- 消防関係：問題なし
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律：問題なし
- フロン排出抑制法：問題なし
- 下水道法：問題なし
- 家電リサイクル法：問題なし
- 米沢市環境マネジメントシステム：問題なし

6-2. 法令違反・訴訟等の有無

行政からの環境関連法令違反の指摘・指導、環境面での訴訟は、創業以来ありません。

7. 代表者による見直しの結果



平成30年度から、対象外であった指定管理施設がエコアクション21の取組に参加し、12月の更新審査において、指定管理施設の取組が評価され、無事更新することができ、これで全組織でエコアクション21の取組がスタートしました。

その中で米沢市児童会館は、指定管理施設の中では、いち早くLED化に取り組み、平成30年度も2階廊下や音楽室の照明をLED化し、残すは、2階の第一、第二クラブ室となりました。引き続き、行政と連携し、LED化を実現してまいります。

また、児童会館では毎年ペットボトルのキャップを来館者から収集し、エコキャップ推進運動に取り組まれている山形銀行西米沢支店様に寄贈するなど、環境だけでなく、社会貢献活動を以前から行っております。

一方、利用者への周知という点では、環境掲示板が不十分だったように感じましたので、児童会館という施設の特徴を活かし、小さいお子様の時から、自然と環境に配慮できる掲示板を作成して欲しいです。来年度以降は、照明のLED化など、行政の環境負荷につながる提案をすることで更なるCO₂削減に寄与してまいります。

株式会社 エービーエム 代表取締役社長 赤間俊明



8. 環境コミュニケーションの取組



ごとうかいかんのことも委員会のメンバーで
みんなから集めたペットボトルキャップを山形銀行に届けたよ



今年もゴーヤのグリーンカーテン成功!
(館長とや顔^^)



2階廊下をLED化したよ



この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は、窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。

米沢市児童会館HP (<http://yonejidou.jp>)

指定管理者株式会社エービーエムHP (<http://www.y-abm.co.jp/>)

エコアクション21中央事務局HP (<http://www.ea21.jp/>)

でもご覧いただけます。

992-0052 米沢市丸の内1-3-47

TEL0238-23-0161 FAX0238-21-7494

Email : info@yonejidou.jp



株式会社

エービーエム

2018年度

環境経営レポート (米沢市営体育館)

2018年4月～2019年3月

発行日：2019年7月1日

豊かに快適な環境を求めて…



爽やかな笑顔、
真心のサービス



環境経営レポート部門



®環境省

エコアクション21
認証番号0011545





社 是

私達は、技術・知識の向上に努め
安全・安心・清潔のサービスをモットーに
快適な環境を社会へ提供します。

経 営 方 針

私達は お客様感動を達成します。
私達は 事故ゼロを継続します。
私達は 不祥事案を撲滅します。
私達は 環境方針を推進します。

環 境 経 営 方 針

環境理念

私たちは、ふるさとの豊かな環境を守り、持続可能な社会の実現を目指すため、環境マネジメントシステムの継続的な運用改善を図り、自らの環境負荷を可能な限り削減していくとともに、総合ビル管理、警備、指定管理等の業務を通じて、「安全・安心・清潔」に関する技術と真心サービスを提供しつつ、お客様の環境負荷の削減にも寄与してまいります。

環境行動指針

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 電力使用、化石燃料の消費に伴い発生する二酸化炭素を計画的に削減していきます。
3. 廃棄物を可能な限り削減するとともに分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます。
4. 節水に努め、水資源を大切にします。
5. 化学物質の使用量を削減していきます。
6. 社員のスキル向上により、業務の効率化を図り、他社との差別化を図ります。
7. お客様の環境負荷削減につながる提案を積極的に行い、可能な範囲で実践します。
8. 地域の環境保全活動に貢献します。

制定日：平成28年6月1日

最終改定日：令和元年5月1日

代表取締役社長 赤間俊明

2. 組織の概要



2-1. 事業者名及び代表者氏名

- エービーエム・吾妻スポーツ・米沢市体育協会共同企業体
代表者 株式会社エービーエム ■ 代表取締役社長 赤間俊明

2-2. 所在地

- 本社：〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田 584-2
- 指定管理施設「米沢市営体育館」：〒992-0052 米沢市丸の内1-3-47

2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者：企画・人事部部長 田口浩之
- 施設環境管理責任者：手塚直利
- 連絡先：TEL/FAX 0238-23-0664
- Email：info@yonegym.jp



2-4. 施設概要

米沢市営体育館はバスケットボール・バレーボール・バドミントン・卓球などが利用できるアリーナをはじめ、合宿所・トレーニング室・会議室などの附属施設があり、武道館を併設しています。また、周辺には相撲場・テニスコートが立地しており、地域の皆さまの日常のサークル活動から各種大会やイベントまで様々な目的でご利用頂けます。

スポーツ・レクリエーションを通して心身ともに健康で明るい生活が送れるよう、皆さまをサポートして参ります。

名称	位置	規模・施設内容	竣工
米沢市営体育館	米沢市金池3丁目1番62号	■敷地面積7,806㎡、建築面積4,102㎡、延床面積5,983㎡ ■RC造2階建、アリーナ44m×38.5mステージ44m×9m、トレーニング室、合宿所、厨房、食堂、浴室、事務室、会議室ボイラー室、電気室、トイレ等	S47.5.31
米沢市営武道館	米沢市金池3丁目1番65号	■敷地面積2,353㎡、建築面積1,021㎡、延床面積1,536㎡ ■RC造2階建、弓道場、柔道場、剣道場、会議室、トイレ等	S47.7.1
米沢市営相撲場	米沢市金池5丁目1番36号	■敷地面積2,029㎡、建築面積350㎡ ■鉄骨造平屋、土俵、観覧席、倉庫、シャワー室、トイレ等	S54.10.25
米沢市営北村公園テニスコート	米沢市金池4丁目3730番1	■敷地面積3,600㎡、クレーコート4面 ■夜間照明設備 ■クラブハウス RC造平屋、更衣室、倉庫、ミーティング室等	S51.11.4

- 常勤社員：6名（正社員3名，パート社員4名）

2-5. 施設利用状況

事業年度	平成27年度 (H27.4~H28.3)	平成28年度 (H28.4~H29.3)	平成29年度 (H29.4~H30.3)	平成30年度 (H30.4~H31.3)
事業規模				
利用料金収入額(円)	6,608,895	6,883,390	6,518,412	6,597,550
施設利用人数(人)	94,030	85,364	93,153	87,059



3. 環境目標とその実績



3-1. 環境負荷の現状(平成30年度環境負荷自己チェック結果より)

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、H28年度東北電力(調整後:0.548)を用いています。

1) 当施設における平成30年度のCO₂排出量は合計173,795kg-CO₂となっており、前年度比6%削減しました。これは平均的な一般家庭38軒分の排出量に相当します。(平成29年度1世帯あたりの平均年間排出量は4,480kg-CO₂: 出典: 温室効果ガスインベントリオフィス)

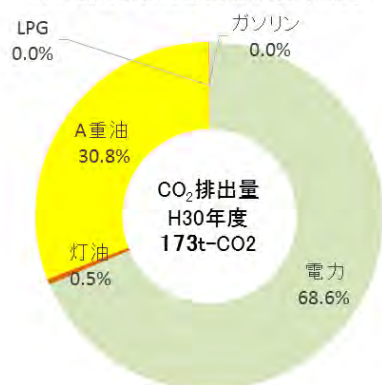
2) 当施設から排出されるCO₂の68.6%は電力の使用に伴うもので119,152kg-CO₂(前年比6.0%減)、次いでA重油の消費に伴うものが30.8%、53,602kg-CO₂(前年比5.9%減)などとなっています。

3) 電力は施設の照明、冷暖房の稼働で使用しています。また、A重油はボイラー運転、灯油は事務所の暖房用、LPGはシャワー用となっています。

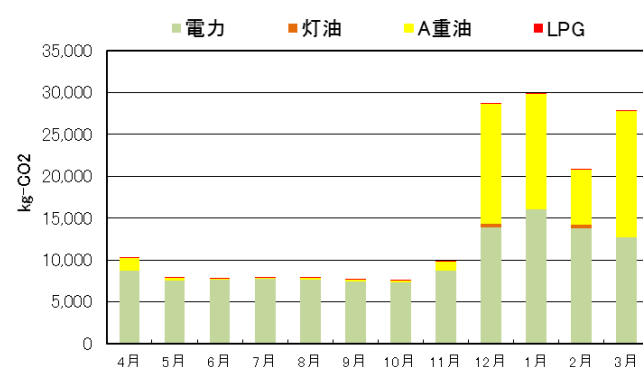
4) 月別のCO₂発生量は冬期間12月~3月に多くなっています。これはおもに冬期間のアリーナの暖房のボイラー使用するためであり、同時に電気を使用するため、増加するためです。

5) 以上のことから、電力使用量の削減とA重油の削減が重点課題であるとなりますが、当施設は竣工から47年を経過し、暖房効率が悪く、アリーナ全体を温めるためには、長時間ボイラーを運転しなければならず、削減は難しいので、事務室などの照明器具のLED化を積極的に実施しておりますが、アリーナ照明のLED化などを行政とともに実施していくことが必要であると思います。

<二酸化炭素の排出源(H30年度)>



<月別二酸化炭素排出量(H30年度)>



■ 廃棄物排出量

■一般廃棄物: 可燃ごみ、紙類(資源回収対象)などは、行政の分別ルールに従い、それぞれ、量を把握した上で排出しています。可燃ゴミが最も多く747kg、次いで古紙・コピー紙が157kg、ペットボトルで74kgでした。リサイクル率は24.5%となっていました。

可燃ごみは利用者の持ち込みのゴミやシュレッダーゴミで、個人情報が入った書類はシュレッダーをかけているためです。

■産業廃棄物: 最も多かったのは廃蛍光灯で66kgでした。照明器具の経年劣化により、通常よりも蛍光灯の寿命も短くなっていると思います。

■ 総排水量(水使用量)

上水のみ使用しており、年間320m³(前年度420m³)使用し、下水道に排出しております。昨年度より23%減少しました。用途は生活排水(トイレ、手洗い、シャワー)のほか、花の水遣りです。

■ 化学物質使用量(購入量)

該当する物質について、本社・南陽営業所データに含まれています。



3-2. 環境目標（単年度・中期）と達成状況

環境経営方針との整合性を図りながら、環境負荷の自己チェックの結果を踏まえ、二酸化炭素、廃棄物、水、グリーン購入について、環境目標（単年度目標&5年間の中期目標）とその達成に向けた活動計画を策定し、取組を行いました。達成状況は下記のとおりです。

■ 二酸化炭素排出量（電 力）

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

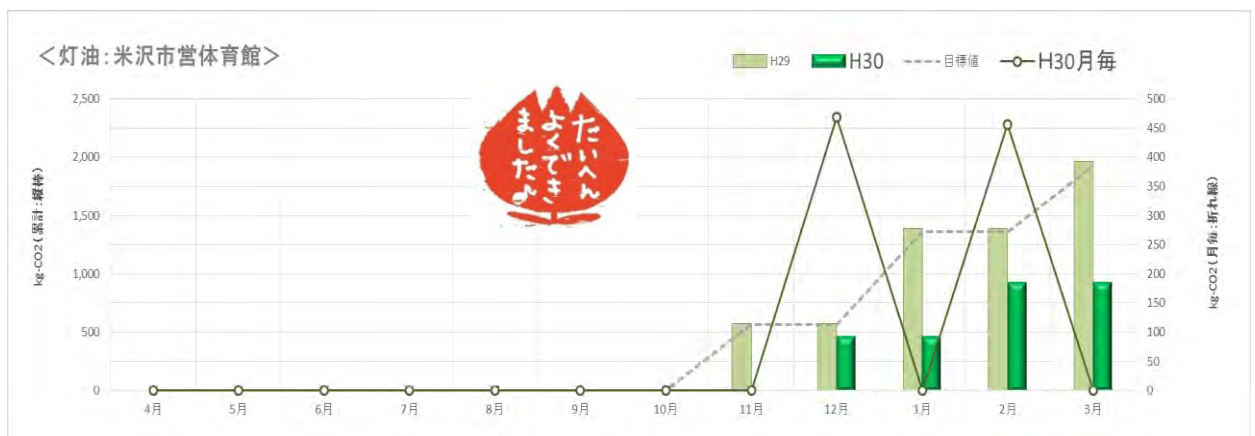
- 基準年度実績：126,822kg-CO₂
- 取組期間目標：124,286kg-CO₂
- 取組期間実績：119,152kg-CO₂
- 増減量：-7,670 kg-CO₂
- 増減率：-6.0%

【評価コメント】

休館日はロビーの照明を消灯したり、使用していない部屋（トイレなど）の照明をこまめに消したりしました。また平成30年度は暖冬だったため、暖房使用時間が少なかった。利用者へも節電の省エネへの周知を行った結果、目標達成することができました。

■ 二酸化炭素排出量（灯 油）

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 基準年度実績：1,964kg-CO₂
- 取組期間目標：1,924 kg-CO₂
- 取組期間実績：925kg-CO₂
- 増減量：-1,039kg-CO₂
- 増減率：-52.9%

【評価コメント】

昨年度と比較して、暖冬だったため暖房稼働時間が大幅減少し、結果大きく目標を達成することができました。

■ 二酸化炭素排出量（LPG）

【H30年度目標】H29年度比2%削減

【中期目標（H30～R4）】H29年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 基準年度実績：159.7kg-CO₂
- 取組期間目標：156.5kg-CO₂
- 取組期間実績：145.4kg-CO₂
- 増減量：-14.3kg-CO₂
- 増減率：-8.9%

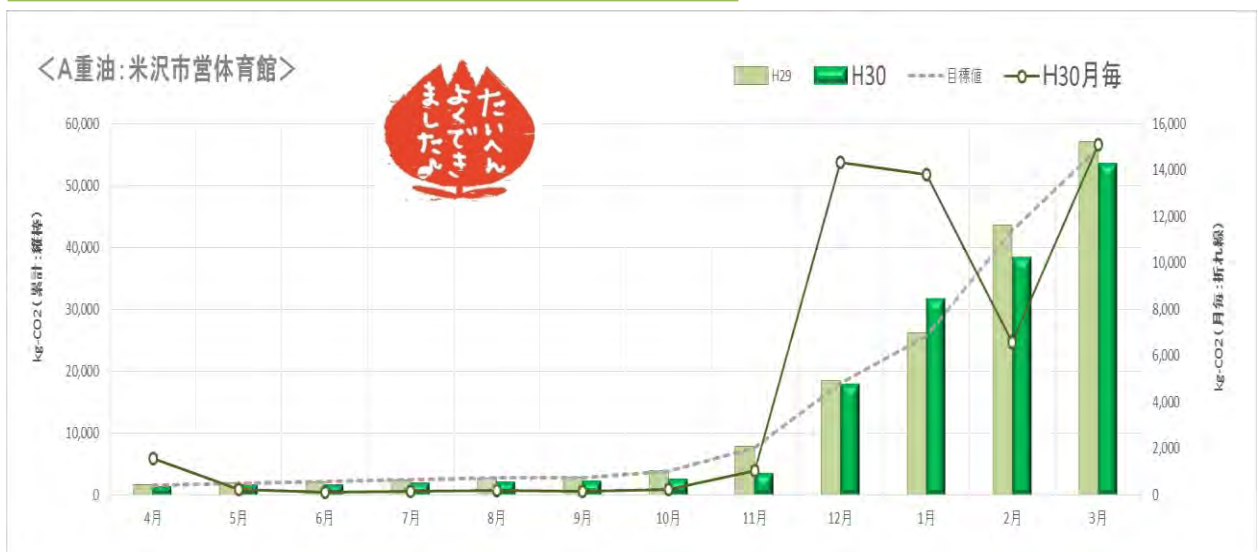
【評価コメント】

LPGはシャワー利用のみであるが、昨年度と比較すると、トレーニング室の利用が増えていることで、シャワー室の利用が増加しており、結果目標を達成することができませんでした。

■ 二酸化炭素排出量（A重油）

【H30年度目標】H29年度比2%削減

【中期目標（H30～R4）】H29年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

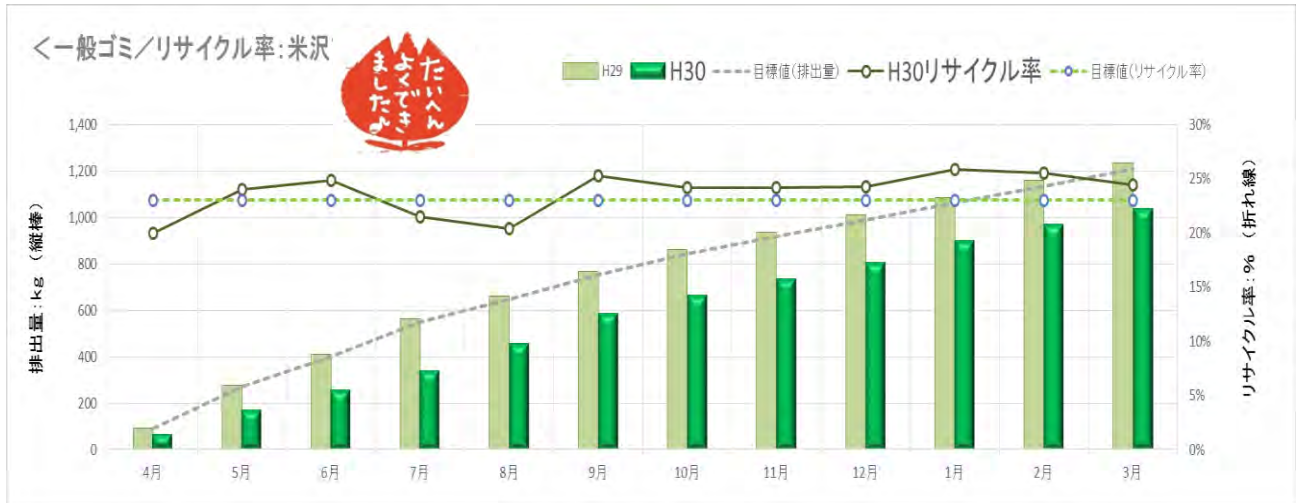
- 基準年度実績：57,010kg-CO₂
- 取組期間目標：55,870kg-CO₂
- 取組期間実績：53,602kg-CO₂
- 増減量：-3,408kg-CO₂
- 増減率：-6.0%

【評価コメント】

A重油はアリーナの暖房および、合宿時の給湯ボイラーでしようしますが、暖冬だったことや、合宿の利用が昨年と比べると減ったことで目標を達成することができました。

■ 一般廃棄物排出量

【H30年度目標】 H29年度比で排出量2%削減／リサイクル率2%向上
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比で排出量10%削減 リサイクル率10%向上



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 基準年度実績：排出量 1,232kg リサイクル率 21%
- 取組期間目標：排出量 1,207kg リサイクル率 23%
- 取組期間実績：排出量 1,040kg リサイクル率 24%
- 増減量：排出量 -192kg リサイクル率 +3%
- 増減率：排出量 -15.5%

【評価コメント】

利用者にゴミの持ち帰りを打ち合わせで説明したことや、来館者へのゴミの持ち帰りを協力いただくポップの作成や、さらにゴミの分別を強化し、リサイクル率を上げる努力をしたことにより、排出量、リサイクル率ともに目標を達成することができました。

■ 産業廃棄物排出量

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比10%削減を維持



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 基準年度実績：75.0kg
- 取組期間目標：74.0g
- 取組期間実績：75.0kg
- 増減量：0kg
- 増減率：0%

【評価コメント】

主な排出物は汚泥で、厨房の雑排水槽清掃時に出る汚泥で定量です。4月と2月に排出量が増加しているのは、蛍光灯を排出したためです。結果、昨年度と同じ排出量となり、目標は達成できませんでした。

■ 水使用量

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

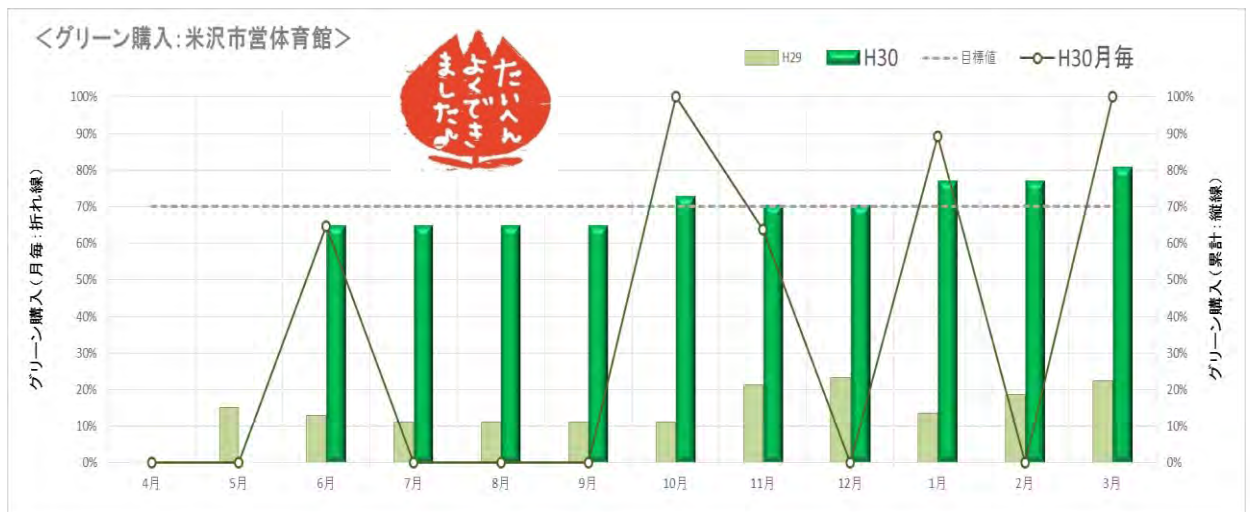
- 基準年度実績：420 m³
- 取組期間目標：412 m³
- 取組期間実績：320 m³
- 増減量：-100 m³
- 増減率：-23.8%

【評価コメント】

スタッフの節水意識や館内の掲示などで、節水を周知したこと、また昨年度より合宿利用が減少し、それに伴い浴室利用も減少したことで目標を達成することができました。

■ グリーン購入

【H30年度目標】 グリーン購入率70%以上
 【中期目標（H28～32）】 グリーン購入率80%以上



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 取組期間目標：70%
- 取組期間実績：81%

【評価コメント】

事務消耗品を購入する際は必ずグリーン購入をするように徹底したことにより、購入率81%を達成することができました。

4. 環境活動計画と取組結果 並びに次年度の取組内容



<評価判定の目安>

○…実施済。80%以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。

△…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。

×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。(是正処置の対象)

環境経営 目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	備考、是正処置 の必要性等
二酸化炭素排出量	■消費電力の削減	■室温は、暖房期20℃、冷房期28℃で管理	○	○	○	○	
		■サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	×	×	×	×	購入を検討
		■使用していない部屋のエアコンはOFF	○	○	○	○	
		■定期的にエアコンのフィルターを清掃	○	△	○	○	
		■不要な照明は消灯	○	○	○	○	
		■クールビズの推進(機能性下着の着用)	○	○	△	△	
		■ウォームビズの推進(保温性の高い下着の着用)	△	△	○	○	
		■パソコンは省エネモードで使用	○	○	○	○	
		■トイレの暖房便座は夏期OFF(温水の温度設定は「低」)	○	○	△	△	
		■グリーンカーテン	○	○	△	△	
	■窓にすだれを垂らし、直射日光を防ぐ	△	△	△	△		
	■その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	■暖房温度は決められた温度以下で管理する。	○	—	○	○	
		■窓の内側に断熱材を貼り付ける	—	—	×	×	
		■ウォームビズの徹底(服装による省エネ推進)	—	—	○	○	
■必要最低限の温度で給湯(夏期は使用しない)		○	—	○	○		
の削減と適正管理	■一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	■廃棄物置場の整理整頓	△	△	○	○	
		■不要な資料・カタログ等の辞退・返却	△	△	○	○	
		■コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)	○	○	○	○	
		■一般廃棄物の排出量記録	○	○	○	○	
	■産業廃棄物の削減と適正管理	■社内の整理整頓	○	○	○	○	
		■保管場所の管理(安全衛生状態も含む)	○	○	○	○	
の削減	■水道使用量の削減	■「節水」の掲示	△	△	○	○	
		■蛇口元栓の調整(必要最小限の流量)	○	○	○	○	
		■地下水の適正利用基準の策定と遵守	△	△	△	△	
		■その他節水対策機器に関する情報収集	○	○	○	○	
グリーン購入	■グリーン購入	■グリーン購入ネットワーク(GPN)認定商品(エコ商品)の選定	○	○	○	○	
		■事務消耗品のエコ商品購入率の把握	○	○	○	○	
(自主設定項目 「製品サービ ス」)	■社員のスキルアップ	■資格取得者の増加	○	○	○	○	
		■社内研修会・勉強会の開催、テキスト参考書購入補助	○	○	○	○	
■誤発報による緊急出動回数を減らす	■開始開錠ミス	■開始開錠ミスを減らすように教育する。	○	○	○	○	
		■会社周辺の清掃活動	○	×	×	△	スポGOMI大会参加
		■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施	○	×	×	△	

多くの計画は実施することができましたが、一部未実施だった部分があり是正が必要な項目がありました。施設の周辺の清掃活動は、主催したスポーツゴミ拾いのみとなり、毎月1回実施はできませんでした。来年度は月1回の清掃を必ず実施します。



6. 環境関連法規等の遵守状況、 訴訟等の有無



6-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況

当社が法的義務を受ける環境関連法規の遵守状況は、平成30年4月に関連法規一覧にまとめ、確認した結果、違反はありませんでした。

- 環境基本法等：問題なし
- 大気汚染防止法：問題なし
- ボイラー及び圧力容器安全規則：問題なし
- 水質汚濁防止法（貯油施設）：問題なし（訓練未実施だったため、H30年度中に実施済）
- 下水道法：問題なし
- 消防関係：問題なし
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律：問題なし（水銀使用製品産業廃棄物の掲示板設置済）
- フロン排出抑制法：問題なし
- 下水道法：問題なし
- 家電リサイクル法：問題なし
- 米沢市環境マネジメントシステム：問題なし

6-2. 法令違反・訴訟等の有無

行政からの環境関連法令違反の指摘・指導、環境面での訴訟は、創業以来ありません。

7. 代表者による見直しの結果



平成30年度から、対象外であった指定管理施設がエコアクション21の取組に参加し、12月の更新審査において、指定管理施設の取組が評価され、無事更新することができ、これで全組織でエコアクション21の取組がスタートしました。

その中で米沢市営体育館は、責任者がエコアクション21スタート当初からの推進委員で、利用者への環境配慮についてのポップの掲示や環境掲示板の設置、古紙などを回収して障がい者ワークセンター開設のための活動『愛のリサイクル運動』へ古紙の提供などを積極的に行っています。なかでも、毎年スポーツゴミ拾い大会を主催し、町の環境美化にも取り組んでいます。

今年度は暖冬だったこともありましたが、CO₂の削減に大きな結果を残すことが出来ましたが、施設の老朽化に伴い、蛍光灯の寿命も短くなっているため、アリーナ照明のLED化など、行政の環境負荷につながる提案をすることで更なるCO₂削減に寄与してまいります。

株式会社 エービーエム 代表取締役社長 赤間俊明



8. 環境コミュニケーションの取組



山形県	
米沢市 よねざわし	
実施回数	3回目
人口	81,766人
参加者	44,988人
参加率	55.0%

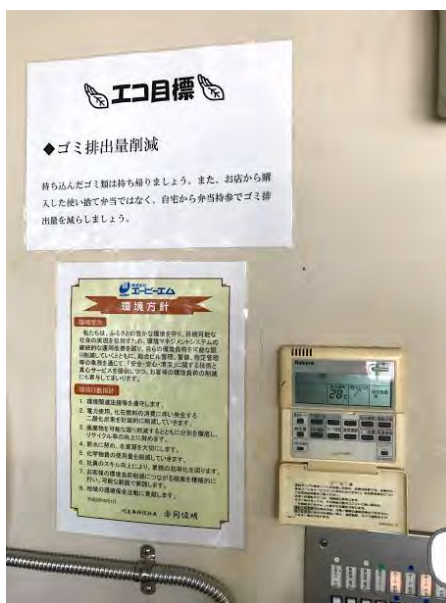
VS

茨城県	
取手市 とりでし	
実施回数	初実施
人口	107,963人
参加者	29,321人
参加率	27.2%

今年もスポーツゴミ拾い大会をスポーツ
チャレンジデーに開催。
見事米沢市の初勝利に貢献!!



やたら目立つ環境掲示板！
当施設の電力はグリーン電力を使用しています。



エコ目標を毎月決めて取り組んでいます。
もちろん、エアコン設定温度は28度！

この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は、窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。
米沢市営体育館等HP (<http://yonegym.jp>)
指定管理者株式会社エービーエムHP (<http://www.y-abm.co.jp/>)
エコアクション21中央事務局HP (<http://www.ea21.jp/>)
でもご覧いただけます。

〒992-0012 米沢市金池三丁目1-62

TEL/FAX 0238-23-0664

Email : info@yonegym.jp



株式会社

エービーエム

2018年度

環境経営レポート (置賜総合文化センター)

2018年4月～2019年3月

発行日：2019年7月1日

豊かに快適な環境を求めて…



爽やかな笑顔、
真心のサービス



環境経営レポート部門



®環境省

エコアクション21
認証番号0011545





社 是

私達は、技術・知識の向上に努め
安全・安心・清潔のサービスをモットーに
快適な環境を社会へ提供します。

経 営 方 針

私達は お客様感動を達成します。
私達は 事故ゼロを継続します。
私達は 不祥事案を撲滅します。
私達は 環境方針を推進します。

環 境 経 営 方 針

環境理念

私たちは、ふるさとの豊かな環境を守り、持続可能な社会の実現を目指すため、環境マネジメントシステムの継続的な運用改善を図り、自らの環境負荷を可能な限り削減していくとともに、総合ビル管理、警備、指定管理等の業務を通じて、「安全・安心・清潔」に関する技術と真心サービスを提供しつつ、お客様の環境負荷の削減にも寄与してまいります。

環境行動指針

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 電力使用、化石燃料の消費に伴い発生する二酸化炭素を計画的に削減していきます。
3. 廃棄物を可能な限り削減するとともに分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます。
4. 節水に努め、水資源を大切にします。
5. 化学物質の使用量を削減していきます。
6. 社員のスキル向上により、業務の効率化を図り、他社との差別化を図ります。
7. お客様の環境負荷削減につながる提案を積極的に行い、可能な範囲で実践します。
8. 地域の環境保全活動に貢献します。

制定日：平成28年6月1日

最終改定日：令和元年5月1日

代表取締役社長 赤間俊明

2. 組織の概要



2-1. 事業者名及び代表者氏名

- 株式会社エービーエム
- 代表取締役社長 赤間 俊明

2-2. 所在地

- 本社：〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田 584-2
- 指定管理施設「置賜総合文化センター」：〒992-0012 山形県米沢市金池3-1-14

2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者：企画・人事部部長 田口 浩之
- 施設環境管理責任者：加藤 恵美子
- 連絡先：Tel.0238-21-6111(代) Fax.0238-40-0631
- Email：info@okisou-bunka.jp

2-4. 施設概要

置賜総合文化センターとは、総合的な文化活動の拠点として、中央公民館、青年の家、視聴覚センターの機能を持つ施設で、社会教育、学校教育の要求をふまえ、文教都市米沢のビジョンとして、複合施設置賜総合文化センターが昭和50年に設置されました。文化センターは、それぞれの機能はもちろん住民の広域的、広範囲の学習要求に対し、また専門的な立場から調査、研究、資料や情報の提供等が行える社会教育の指導拠点として、生涯教育・学習のできる総合的な機能もあわせもった施設です。

【構造】 鉄骨鉄筋コンクリート造4階建

【敷地面積】4,476.12㎡【建築面積】1,952.71㎡【延面積】6,490.3㎡

【竣工】 昭和50年5月31日



■ 常勤社員：12名（正社員3名、パート社員11名）※市職員を除く

2-5. 施設利用状況

事業年度	平成27年度 (H27.4~H28.3)	平成28年度 (H28.4~H29.3)	平成29年度 (H29.4~H30.3)	平成30年度 (H30.4~H31.3)
事業規模				
施設利用人数(人)	88,032	48,167 ※2	64,128	65,296
使用料収入(円)※1	4,700,380	3,176,470	4,040,690	4,307,630

※1 使用料は利用料金制でないため、全て市に納入しています。

※2 市立図書館移転に伴い館内の改修工事で平成28年8月1日～10月31日まで施設の貸出停止
また、201研修室、203研修室、301研修室は平成28年7月15日～11月30日まで貸出停止

置賜総合文化センター コレクション



置賜総合文化センターは米沢市の中心地にありアクセス抜群です。



置賜総合文化センターの屋上から見える景色は絶景です。



毎年、グリーンカーテンを栽培しています。



置賜総合文化センターのシンボルツリーである「こぶしの木」とチャペルです。



3. 環境目標とその実績



3-1. 環境負荷の現状(平成30年度環境負荷自己チェック結果より)

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、H28年度東北電力(調整後:0.548)を用いています。

1) 当施設における平成30年度のCO₂排出量は合計236,710kg-CO₂となっており、前年度比1.5%増加しました。これは平均的な一般家庭52軒分の排出量に相当します。(平成29年度1世帯あたりの平均年間排出量は4,480kg-CO₂:出典:温室効果ガスインベントリオフィス)

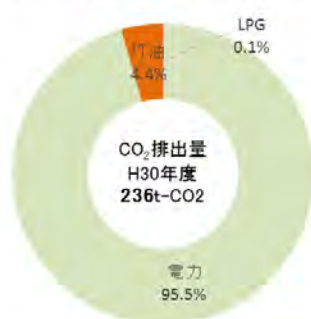
2) 当施設から排出されるCO₂の95.5%は電力の使用に伴うもので226,038kg-CO₂(前年比3.5%増)、次いで灯油の消費に伴うものが4.4%、10,466kg-CO₂(前年比27%減)などとなっています。

3) 電力は施設の照明、冷暖房の稼働で使用しています。また、灯油はホールの暖房と浴室給湯用ボイラー運転で使用しています。LPGは調理室や理科研修センター、喫茶室で使用しています。

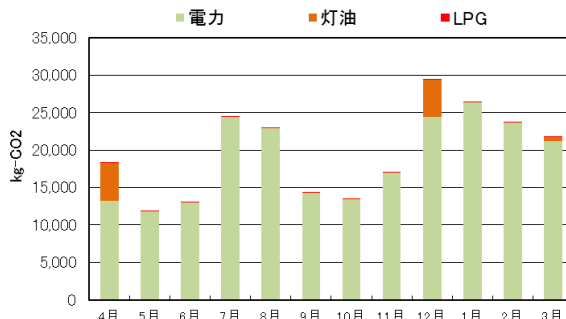
4) 月別のCO₂発生量は夏期間7月~8月、冬期間12月~3月に多くなっています。これは冷暖房で空調機を運転するためです。特に冬場は施設の断熱性や、空調機の老朽化に伴い、暖房使用時間が増加する傾向にあります。また空調機も不具合で集中管理が出来ないことで、空調の温度管理はお客様や同居する米沢市様となっています。

5) 以上のことから、電力使用量の削減が重点課題であります。当施設は竣工から40年以上を経過し、暖房効率が悪く、施設を温めるためには、長時間暖房を運転しなければならず、さらに集中管理できない今の空調機では使用量の大幅な削減は難しいため、空調機のリニューアルと、事務室などの照明器具のLED化を行政とともに実施していくことが必要であると思えます。利用者への周知とともに、同居する米沢市様にも省エネに御理解いただくことも必要です。

<二酸化炭素の排出源(H30年度)>



<月別二酸化炭素排出量(H30年度)>



■ 廃棄物排出量

■一般廃棄物:可燃ごみ、紙類(資源回収対象)などは、行政の分別ルールに従い、それぞれ、量を把握した上で排出しています。可燃ゴミが最も多く3,456kg、次いで古紙・コピー紙が2,431kg、ペットボトルで172.8kgでした。リサイクル率は43.5%となっていました。

可燃ごみは利用者の持ち込みのゴミや文化センタースタッフ、米沢市職員のゴミの他、シュレッダーゴミで、個人情報の入った書類はシュレッダーをかけているためです。

■産業廃棄物:文化センターから排出される産業廃棄物は雑排水清掃時に発生する汚泥のみです。(当施設は蛍光灯は、米沢市のゴミの分別ルールに従い、不燃ごみで処分しています。)

■ 総排水量(水使用量)

上水のみ使用しており、年間4,446m³(前年度4,250m³)使用し、下水道に排出しております。昨年度より4%増加しました。用途は生活排水(トイレ、手洗い、シャワー、浴室)のほか、喫茶室での使用、花の水遣りです。

■ 化学物質使用量(購入量)

該当する物質について、本社・南陽営業所データに含まれています。



3-2. 環境目標（単年度・中期）と達成状況

環境経営方針との整合性を図りながら、環境負荷の自己チェックの結果を踏まえ、二酸化炭素、廃棄物、水、グリーン購入について、環境目標（単年度目標&5年間の中期目標）とその達成に向けた活動計画を策定し、取組を行いました。達成状況は下記のとおりです。

■ 二酸化炭素排出量（電 力）

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 基準年度実績：218,353kg-CO₂
- 取組期間目標：213,986kg-CO₂
- 取組期間実績：226,038kg-CO₂
- 増減量：7,685 kg-CO₂
- 増減率：3.5%

【評価コメント】

昨年と比べると夏の猛暑(酷暑)のためホール、貸室において昨年より冷房使用時間が多かったことで前半は増加しました。後半は暖冬だったため暖房使用は減ったものの、トータルでは、目標を達成することはできませんでした。

■ 二酸化炭素排出量（灯 油）

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

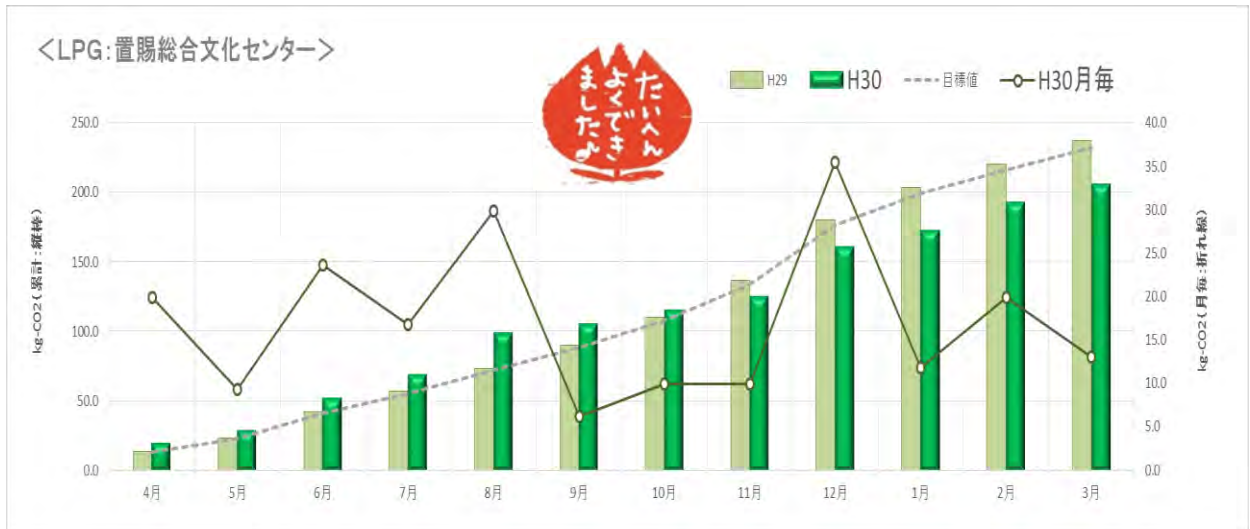
- 基準年度実績：14,403kg-CO₂
- 取組期間目標：14,115kg-CO₂
- 取組期間実績：10,466kg-CO₂
- 増減量：-3,937kg-CO₂
- 増減率：-27.3%

【評価コメント】

昨年度と比較して、合宿利用が減ったことで、風呂の利用が減少し、目標を達成することができました。

■ 二酸化炭素排出量 (LPG)

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比10%削減



【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)

- 基準年度実績: 237.4kg-CO₂
- 取組期間目標: 232.6kg-CO₂
- 取組期間実績: 205.7kg-CO₂
- 増減量: -31.7kg-CO₂
- 増減率: -13.4%

【評価コメント】

昨年度と比べると調理室の利用が増え、また理科研修センターでの研修が多かったのでガスの利用が増えましたが、後半喫茶室の臨時休業などで使用が落ち着き、結果的には目標を達成することができました。

■ 水使用量

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比10%削減



【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)

- 基準年度実績: 4249.5 m³
- 取組期間目標: 4,165m³
- 取組期間実績: 4,446m³
- 増減量: +196 m³
- 増減率: +4.6%

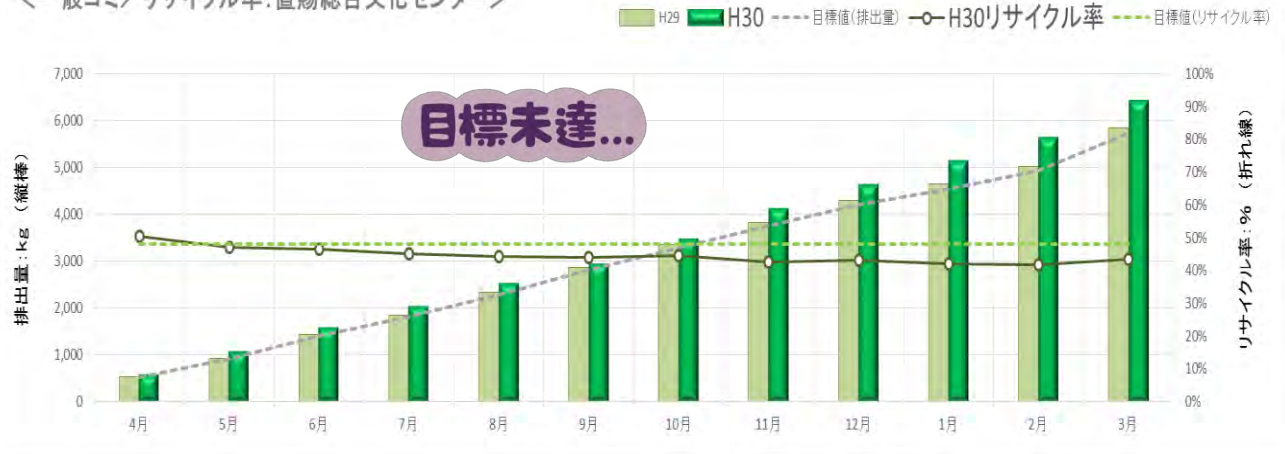
【評価コメント】

節水のポップを掲示し、利用者や市職員に対しても呼びかけて参りましたが、ホールの使用や合宿の使用、また冬期間の駐車場の消雪などにより、結果目標を達成することが出来ませんでした。

■ 一般廃棄物排出量

【H30年度目標】 H29年度比で排出量2%削減／リサイクル率2%向上
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比で排出量10%削減 リサイクル率10%向上

＜一般ゴミ/リサイクル率:置賜総合文化センター＞



【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)

- 基準年度実績: 排出量 5,851kg リサイクル率 46%
- 取組期間目標: 排出量 5,734kg リサイクル率 48%
- 取組期間実績: 排出量 6,423kg リサイクル率 44%
- 増減量: 排出量 +572kg リサイクル率 -2%
- 増減率: 排出量 +9.8%

【評価コメント】

当初はゴミの分別や持ち帰りは徹底されてきているが、市職員の事務関係の廃棄物が多かったが、徐々に改善はされているものの、年末の大掃除でまた増加してしまっ。後半では館内のゴミ箱を約45%撤去し、リサイクルボックスを改善しましたが、目標には届きませんでした。

■ 産業廃棄物排出量

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比10%削減を維持



＜産業廃棄物:置賜総合文化センター＞



【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)

- 基準年度実績: 6,160kg
- 取組期間目標: 6,037g
- 取組期間実績: 6,160kg
- 増減量: 0kg
- 増減率: 0%

【評価コメント】

主な排出物は汚泥で、厨房の雑排水槽清掃時に出る汚泥で定量です。結果、昨年度と同じ排出量となり、削減はすることができません。したがって目標は達成できませんでした。(文化センターの場合は蛍光灯や乾電池は一般ゴミの不燃ごみで排出するので、こちらには反映されていません)

■ グリーン購入

【H30年度目標】グリーン購入率70%以上
 【中期目標（H28～32）】グリーン購入率80%以上



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 取組期間目標：70%
- 取組期間実績：38%

【評価コメント】

事務消耗品を購入する際は必ずグリーン購入をするように徹底しましたが、そのほかの消耗品でグリーン購入対象外の商品を購入したため、昨年度よりは改善しましたが、目標に届きませんでした。

4. 環境活動計画と取組結果 並びに次年度の取組内容

＜評価判定の目安＞

- …実施済。80%以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。
- △…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。
- ×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。（是正処置の対象）

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	備考、是正処置の必要性等
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■室温は、暖房期20℃、冷房期28℃で管理	△	△	△	△	
		■サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	△	△	△	△	各事務室で使用
		■使用していない部屋のエアコンはOFF	○	○	○	○	
		■定期的にエアコンのフィルターを清掃	○	○	○	○	
		■不要な照明は消灯	○	○	○	○	
		■クールビズの推進(機能性下着の着用)	—	—	—	—	
		■ウォームビズの推進(保温性の高い下着の着用)	—	—	—	—	
		■パソコンは省エネモードで使用	○	○	○	○	
		■トイレの暖房便座は夏期OFF(温水の温度設定は「低」)	○	○	○	○	
		■グリーンカーテン	○	○	—	—	
	■窓にすだれを垂らし、直射日光を防ぐ	—	—	—	—		
	■その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	■暖房温度は決められた温度以下で管理する。	○	○	○	○	
		■窓の内側に断熱材を貼り付ける	—	—	△	△	
		■ウォームビズの徹底(服装による省エネ推進)	○	○	○	○	
		■必要最低限の温度で給湯(夏期は使用しない)	△	△	△	△	1F～3Fは設定不可能

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	備考、是正処置の必要性等
の削減と適正管理	■一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	■廃棄物置場の整理整頓	○	○	○	○	
		■不要な資料・カタログ等の辞退・返却	○	○	○	○	
		■コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)	○	○	○	○	
		■一般廃棄物の排出量記録	○	○	○	○	
		■社内の整理整頓	○	○	○	○	
	■産業廃棄物の削減と適正管理	■保管場所の管理(安全衛生状態も含む)	○	○	○	○	
■充電式乾電池への転換		○	○	○	○		
■マニフェスト・契約書類の管理		○	○	○	○		
の削減	■水道使用量の削減	■「節水」の掲示	○	○	○	○	
		■蛇口元栓の調整(必要最小限の流量)	○	○	○	○	
		■地下水の適正利用基準の策定と遵守	△	△	△	△	
		■その他節水対策機器に関する情報収集	○	○	○	○	
購入	■グリーン購入	■グリーン購入ネットワーク(GPN)認定商品(エコ商品)の選定	○	○	○	○	
		■事務消耗品のエコ商品購入率の把握	○	○	○	○	
(製品サービス関連)	■社員のスキルアップ	■資格取得者の増加	○	○	○	○	業務社内検定、救急講習、CD研修
		■社内研修会・勉強会の開催、テキスト参考書購入補助	○	○	○	○	
	■誤発報による緊急出動回数を減らす	■開始開錠ミスを減らすように教育する。	○	○	○	○	
■会社周辺の清掃活動	■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施	○	○	○	○	チャレンジゴミ拾い参加	

多くの計画は実施することができましたが、一部未実施だった部分がありました。エアコンの温度管理については、ポップで掲示してはいるものの、機器トラブルで集中管理ができないため、お客様、市職員にお任せしているところです。
毎月1回以上実施しているスタッフミーティングの前に15分間、周辺の草むしりやゴミ拾いを実施いたしました。

6. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無



6-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況

当社が法的義務を受ける環境関連法規の遵守状況は、平成30年4月に関連法規一覧にまとめ、確認した結果、違反はありませんでした。

- 環境基本法等：問題なし
- 大気汚染防止法：問題なし
- ボイラー及び圧力容器安全規則：問題なし
- 水質汚濁防止法(貯油施設)：問題なし(訓練未実施だったため、H30年度中に実施済)
- 下水道法：問題なし
- 消防関係：問題なし
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律：問題なし(水銀使用製品産業廃棄物の掲示板設置済)
- フロン排出抑制法：問題なし
- 下水道法：問題なし
- 家電リサイクル法：問題なし
- 米沢市環境マネジメントシステム：問題なし

6-2. 法令違反・訴訟等の有無

行政からの環境関連法令違反の指摘・指導、環境面での訴訟は、創業以来ありません。



7. 代表者による見直しの結果



平成30年度から、対象外であった指定管理施設がエコアクション21の取組に参加し、12月の更新審査において、指定管理施設の取組が評価され、無事更新することができ、これで全組織でエコアクション21の取組がスタートしました。

その中で置賜総合文化センターは、他の指定管理施設と違い、米沢市教育委員会や、市の外郭機関が入っているため、電気使用や水などの公共料金は全て市負担です。直接関わる職員の方はエコアクション21についての御理解をいただいています。市の職員の方がエービーエムのスタッフよりも多く、公共料金は市負担であるため、なかなかイニシアチブが取れない状況の中、施設管理責任者を中心に、スタッフ全員が意識を持って取り組んでいることで、少しずつではありますが、エコアクション21が市の職員の皆様にも浸透してきているものと感じます。その結果として、昨年度実施したゴミ箱の一部撤去では、市の担当者にも協力いただき、スムーズに進めることが出来ました。今後について、環境目標とその実績でも記載していますが、この置賜総合文化センターは、竣工からまもなく45年を迎える施設で、空調設備のトラブルも毎年のように起こっているため、空調設備のリニューアル、そして、館内照明のLED化などを、積極的に市に提案していき、市の環境負荷低減に寄与して参ります。

株式会社 エービーエム 代表取締役社長 赤間 俊明

8. 環境コミュニケーションの取組



お客様をお迎えする玄関に環境掲示板を設置し、環境への取組をアピールしています。



CD研修会として「対面クレーム研修」に全スタッフで参加いたしました。

この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、窓口でお申し出
いただくか、下記にご連絡下さい。

置賜総合文化センターHP (<http://okisou-bunka.jp>)

指定管理者株式会社エービーエムHP (<http://www.y-abm.co.jp/>)

エコアクション21中央事務局HP (<http://www.ea21.jp/>) でもご覧いただけます。

〒992-0012 山形県米沢市金池3-1-14 Tel.0238-21-6111(代) Fax.0238-40-0631

Email : info@okisou-bunka.jp



株式会社

エービーエム

2018年度

環境経営レポート

(南陽市勤労者総合福祉センター)

2018年4月～2019年3月

発行日：2019年7月1日

豊かに快適な環境を求めて…



爽やかな笑顔、
真心のサービス



環境経営レポート部門



®環境省

エコアクション21
認証番号0011545



社 是

私達は、技術・知識の向上に努め
安全・安心・清潔のサービスをモットーに
快適な環境を社会へ提供します。

経 営 方 針

私達は お客様感動を達成します。
私達は 事故ゼロを継続します。
私達は 不祥事案を撲滅します。
私達は 環境方針を推進します。

環 境 経 営 方 針

環境理念

私たちは、ふるさとの豊かな環境を守り、持続可能な社会の実現を目指すため、環境マネジメントシステムの継続的な運用改善を図り、自らの環境負荷を可能な限り削減していくとともに、総合ビル管理、警備、指定管理等の業務を通じて、「安全・安心・清潔」に関する技術と真心サービスを提供しつつ、お客様の環境負荷の削減にも寄与してまいります。

環境行動指針

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 電力使用、化石燃料の消費に伴い発生する二酸化炭素を計画的に削減していきます。
3. 廃棄物を可能な限り削減するとともに分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます。
4. 節水に努め、水資源を大切にします。
5. 化学物質の使用量を削減していきます。
6. 社員のスキル向上により、業務の効率化を図り、他社との差別化を図ります。
7. お客様の環境負荷削減につながる提案を積極的に行い、可能な範囲で実践します。
8. 地域の環境保全活動に貢献します。

制定日：平成28年6月1日

最終改定日：令和元年5月1日

代表取締役社長 赤間俊明

2. 組織の概要



2-1. 事業者名及び代表者氏名

- 株式会社エービーエム
- 代表取締役社長 赤間俊明

2-2. 所在地

- 本社：〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田 584-2
- 指定管理施設「南陽市勤労者総合福祉センター」
〒992-0472 山形県南陽市宮内4526-1

2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者：企画・人事部部長 田口浩之
- 施設環境管理責任者：五十嵐久人
- 連絡先：TEL. 0238-47-6445

2-4. 施設概要

ワトワセンター南陽(南陽市勤労者総合福祉センター)は、中小企業に働く皆様の福祉の充実と勤労意欲の向上などを目的に、職業の情報提供を行うほか、文化・教養・研修活動を通じ、雇用の促進と職業の安定とを実現するための施設です。

- 平成5年12月1日 雇用促進事業団委託施設として供用開始
その後平成16年4月 建物売買契約後、市有財産として運営開始
- 構造：鉄骨コンクリート造屋根平屋建
- 施設内容：多目的ホール、会議室、研修室、音楽室、
教養文化室、事務室、屋外テニスコート
- 敷地面積 3582.23㎡ 建築面積 977.28㎡ 延べ面積977.28㎡
全天候型砂入人工芝テニスコート 面積1383.0㎡
- 常勤社員：6名(正社員1名、パート社員5名)



2-5. 施設利用状況

事業年度	平成27年度 (H27.4~H28.3)	平成28年度 (H28.4~H29.3)	平成29年度 (H29.4~H30.3)	平成30年度 (H30.4~H31.3)
事業規模				
利用料金収入額(円)	4,434,845	4,434,905	4,262,540	4,360,635
施設利用人数(人)	27,558	27,361	22,718	22,297



3. 環境目標とその実績



3-1. 環境負荷の現状(平成30年度環境負荷自己チェック結果より)

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、H28年度東北電力(調整後:0.548)を用いています。

1) 当施設における平成30年度のCO₂排出量は合計57,487kg-CO₂となっており、前年度比3.8%増加しました。これは平均的な一般家庭12軒分の排出量に相当します。(平成29年度1世帯あたりの平均年間排出量は4,480kg-CO₂: 出典: 温室効果ガスインベントリオフィス)

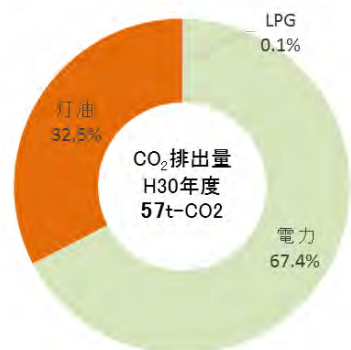
2) 当施設から排出されるCO₂の67.4%は電力の使用に伴うもので38,741kg-CO₂(前年比3%増)、次いで灯油の消費に伴うものが32.5%、18,689kg-CO₂(前年比5.6%増)、LPGが56kg-CO₂(前年比9.6%減)となっています。

3) 電力は施設の照明、テニスコートの夜間照明、冷暖房の稼働で使用しています。また、灯油は冷暖房ボイラー運転用、LPGは給湯、利用者のシャワー用となっています。

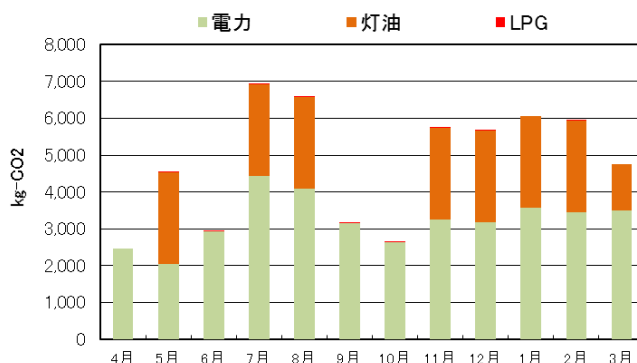
4) 月別のCO₂発生量は夏期の7月、8月と冬期間11月~3月に多くなっています。これは、当館の空調機は吸収冷温水機を使用しているため、冷房時、暖房時ともに灯油を使用するため、同時に電気を使用するため、増加するためです。

5) 以上のことから、灯油使用量の削減と電力使用量の削減が重点課題であるとなりますが、特に空調機は相当の年数が経っており、空調機の切替時には、省エネ機器への交換や、館内のLED化を行政に提案し、実施していくことが必要であると思います。

<二酸化炭素の排出源(H30年度)>



<月別二酸化炭素排出量(H30年度)>



■ 廃棄物排出量

■一般廃棄物: 可燃ごみ、紙類(資源回収対象)などは、行政の分別ルールに従い、それぞれ、量を把握した上で排出しています。可燃ゴミが最も多く42kg、次いで古紙・コピー紙が37kg、廃プラが4.8kgでした。リサイクル率は46.2%となっていました。

可燃ごみは利用者の持ち込みゴミとシュレッダーゴミで、個人情報が入った書類はシュレッダーをかけているためです。館内にはゴミ箱は無いが、給湯室の茶殻や残渣、トイレのゴミなどである。

■産業廃棄物: 排出されたのは廃蛍光灯で8kgでした。照明器具の経年劣化により、通常よりも蛍光灯の寿命も短くなっていると思います。乾電池は全て充電式のものに切り替えています。

■ 総排水量(水使用量)

上水のみ使用しており、年間540m³(前年度466m³)使用し、下水道に排出しております。昨年度より15%増加しました。用途は生活排水(トイレ、手洗い、シャワー)のほか、花の水遣りです。

■ 化学物質使用量(購入量)

該当する物質について、本社・南陽営業所データに含まれています。



3-2. 環境目標（単年度・中期）と達成状況

環境経営方針との整合性を図りながら、環境負荷の自己チェックの結果を踏まえ、二酸化炭素、廃棄物、水、グリーン購入について、環境目標（単年度目標&5年間の中期目標）とその達成に向けた活動計画を策定し、取組を行いました。達成状況は下記のとおりです。

■ 二酸化炭素排出量（電 力）

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標（H30~R4）】 H29年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：H30.4~H31.3）

- 基準年度実績：37,609kg-CO₂
- 取組期間目標：36,857kg-CO₂
- 取組期間実績：38,741kg-CO₂
- 増減量：+1,133 kg-CO₂
- 増減率：+3.0%

【評価コメント】

利用前に予め部屋の換気をすることで、空調の効率化をはかってみました。夏場の酷暑と、利用が昨年度よりも増加したため、それに伴い電力使用が増え、結果目標を達成することができませんでした。

■ 二酸化炭素排出量（灯 油）

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標（H30~R4）】 H29年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：H30.4~H31.3）

- 基準年度実績：17,693kg-CO₂
- 取組期間目標：17,339kg-CO₂
- 取組期間実績：18,689kg-CO₂
- 増減量：+997kg-CO₂
- 増減率：+5.6%

【評価コメント】

昨年度と比較して、暖冬だったため暖房稼働時間が大幅減少し、ましたが、夏場の使用量増の影響もあり、目標を達成できませんでした。

■ 二酸化炭素排出量 (LPG)

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比10%削減



【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)

- 基準年度実績: 62.1kg-CO₂
- 取組期間目標: 60.9kg-CO₂
- 取組期間実績: 55.9kg-CO₂
- 増減量: -6.2kg-CO₂
- 増減率: -10%

【評価コメント】

もともとガスの使用量は少ないが、給湯室などにポップを掲示、また暖冬だったこともあり、給湯温度も比較的抑えることができた結果、目標を達成することができました。

■ 水使用量

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比10%削減



【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)

- 基準年度実績: 466 m³
- 取組期間目標: 457m³
- 取組期間実績: 540m³
- 増減量: +74 m³
- 増減率: +15.9%

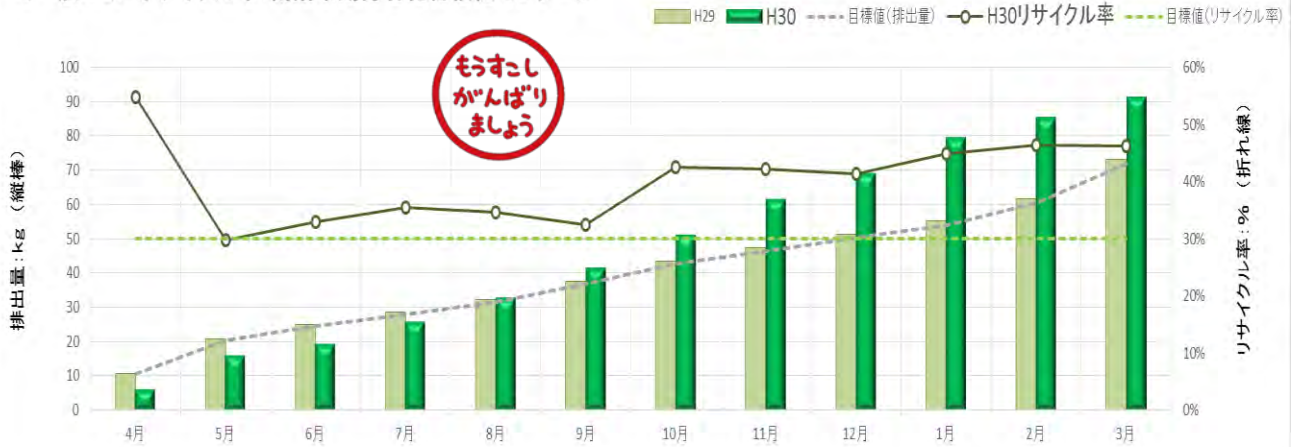
【評価コメント】

スタッフの節水意識や館内の掲示などで、節水を周知したこと、もあり、当初は昨年度より使用量は少なかったのですが、猛暑の影響で使用量が大幅に増加し、また、10月は自主事業「和と輪まつり」を開催し、例年よりも来館者が増加したこともあり、結果、目標に届かなかった(なお、冬期間は推定推量です)

■ 一般廃棄物排出量

【H30年度目標】 H29年度比で排出量2%削減／リサイクル率2%向上
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比で排出量10%削減 リサイクル率10%向上

＜一般ゴミ/リサイクル率:南陽市勤労者総合福祉センター＞



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 基準年度実績：排出量 73kg リサイクル率 28%
- 取組期間目標：排出量 72kg リサイクル率 30%
- 取組期間実績：排出量 91kg リサイクル率 46%
- 増減量：排出量 +18kg リサイクル率 +18%
- 増減率：排出量 +24%

【評価コメント】

来館者へのゴミの持ち帰りを協力いただくポップの作成や、さらにゴミの分別を強化し、リサイクル率を上げる努力をしたことで、リサイクル率は目標を達成できました。一方、利用者が増加したことにより、ゴミの排出量は増加してしまい、目標を達成できませんでした。

■ 産業廃棄物排出量

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比10%削減を維持



＜産業廃棄物:南陽市勤労者総合福祉センター＞



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 基準年度実績：11.1kg
- 取組期間目標：10.8kg
- 取組期間実績：7.6kg
- 増減量：-3.5kg
- 増減率：-31.2%

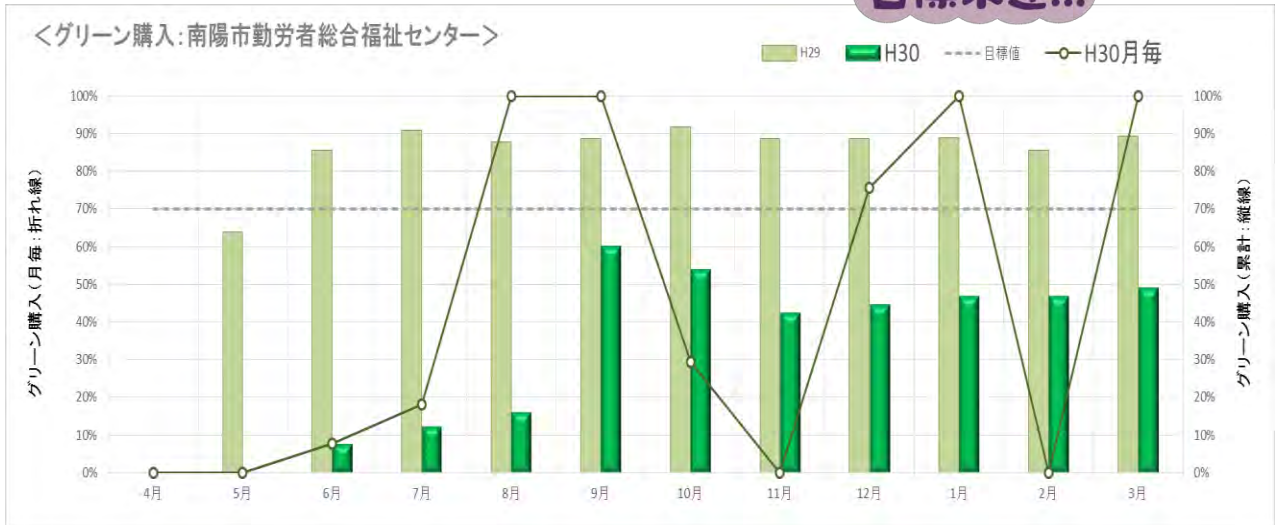
【評価コメント】

乾電池を充電式に切り替えたことにより、徐々に排出量を抑えることに成功、結果目標を達成することができました。

■ グリーン購入

【H30年度目標】グリーン購入率70%以上
 【中期目標（H28～32）】グリーン購入率80%以上

目標未達...



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 取組期間目標：70%
- 取組期間実績：49%

【評価コメント】

事務消耗品を購入する際は必ずグリーン購入をするように徹底しましたが、ハンコやレジのロール紙などはグリーン購入対象でないため、結果目標を達成できませんでした。

4. 環境活動計画と取組結果 並びに次年度の取組内容

<評価判定の目安>

- …実施済。80%以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。
- △…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。
- ×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。（是正処置の対象）

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	備考、是正処置の必要性等
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■室温は、暖房期20℃、冷房期28℃で管理	○	○	○	○	
		■サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	-	-	-	-	サーキュレーターの購入を検討
		■使用していない部屋のエアコンはOFF	○	○	○	○	
		■定期的にエアコンのフィルターを清掃	○	△	○	○	
		■不要な照明は消灯	○	○	○	○	
		■クールビズの推進(機能性下着の着用)	○	○	/	/	
		■ウオームビズの推進(保温性の高い下着の着用)	/	/	○	○	
		■パソコンは省エネモードで使用	○	○	○	○	
		■トイレの暖房便座は夏期OFF(温水の温度設定は「低」)	○	○	/	/	
		■グリーンカーテン	-	-	/	/	グリーンカーテン実施を検討
	■窓にすだれを垂らし、直射日光を防ぐ	-	-	/	/	すだれ購入・設置を検討	
	■その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	■暖房温度は決められた温度以下で管理する。	○	○	○	○	
		■窓の内側に断熱材を貼り付ける	/	/	△	△	事務所のみ実施
		■ウオームビズの徹底(服装による省エネ推進)	-	-	○	○	
■必要最低限の温度で給湯(夏期は使用しない)		○	○	○	○		

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	備考、是正処置の必要性等
の削減と適正管理	■一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	■廃棄物置場の整理整頓	△	△	○	○	
		■不要な資料・カタログ等の辞退・返却	△	△	△	△	
		■コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)	○	○	○	○	
		■一般廃棄物の排出量記録	○	○	○	○	
		■社内の整理整頓	○	○	○	○	
	■産業廃棄物の削減と適正管理	■保管場所の管理(安全衛生状態も含む)	○	○	△	○	
		■充電式乾電池への転換	△	○	○	○	
		■マニフェスト・契約書類の管理	○	○	○	○	
の削減	■水道使用量の削減	■「節水」の掲示	△	△	○	○	
		■蛇口元栓の調整(必要最小限の流量)	○	○	○	○	
		■地下水の適正利用基準の策定と遵守	△	△	△	△	
		■その他節水対策機器に関する情報収集	○	○	○	○	
グリーン購入	■グリーン購入	■グリーン購入ネットワーク(GPN)認定商品(エコ商品)の選定	○	○	○	○	
		■事務消耗品のエコ商品購入率の把握	○	○	○	○	
(製品自主設定項目)	■社員のスキルアップ	■資格取得者の増加	△	△	△	△	救急救命講習会への参加促進
		■社内研修会・勉強会の開催、テキスト参考書購入補助	△	△	△	△	CD研修会への参加促進
	■誤発報による緊急出動回数を減らす	■開始開錠ミスを減らすように教育する。	○	○	○	○	
	■会社周辺の清掃活動	■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施	○	○	○	△	スタッフミーティング前に実施

多くの計画は実施することができましたが、一部未実施だった部分がありました。特に県内の文化施設からイベントのチラシなど、枚数を少なくしてもらおうような交渉をする必要があります。周辺清掃のごみ拾い、草むしりを毎月1回実施しているスタッフミーティング前に実施いたしました。今後について、利用が増えることにより、電気使用量や灯油などの使用量は増加し、ゴミも増加するので、利用者への周知及びご協力をお願いを徹底する。

6. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無



6-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況

当社が法的義務を受ける環境関連法規の遵守状況は、平成30年4月に関連法規一覧にまとめ、確認した結果、違反はありませんでした。

- 環境基本法等：問題なし
- 大気汚染防止法：問題なし
- ボイラー及び圧力容器安全規則：問題なし
- 水質汚濁防止法(貯油施設)：問題なし(訓練未実施だったため、H30年度中に実施済)
- 下水道法：問題なし
- 消防関係：問題なし
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律：問題なし(水銀使用製品産業廃棄物の掲示板設置済)
- フロン排出抑制法：問題なし
- 下水道法：問題なし
- 家電リサイクル法：問題なし

6-2. 法令違反・訴訟等の有無

行政からの環境関連法令違反の指摘・指導、環境面での訴訟は、創業以来ありません。



7. 代表者による見直しの結果



平成30年度から、対象外であった指定管理施設がエコアクション21の取組に参加し、12月の更新審査において、指定管理施設の取組が評価され、無事更新することができ、これで全組織でエコアクション21の取組がスタートしました。

その中で南陽市勤労者総合福祉センターでは、いち早く環境掲示板の作成に着手し、また、利用者への周知のためのポップなど、積極的にエコアクション21を進めていただいております。昨年実施された指定管理施設の審査において、南陽市勤労者総合福祉センターが選出されましたが、環境コミュニケーションが優れていると評価をいただくことができました。

一方、環境関連法規等において、一部認識不足で取組が不十分だったこともありましたが、早急に対応していただきました。

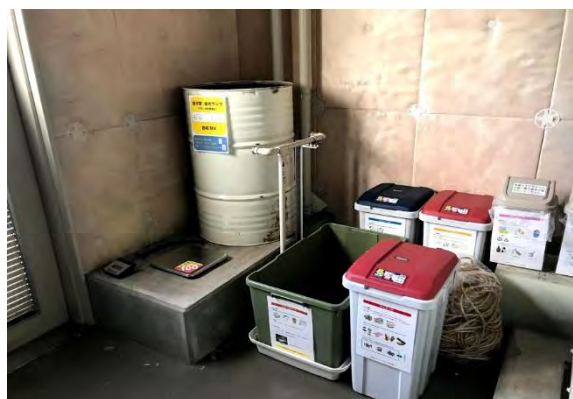
どの指定管理施設にも言えることですが、利用料金制を採用しているため、利用を促進させる必要があるのですが、その結果、電気使用量やゴミの排出量が増加してしまうジレンマがあり、また当施設もまもなく開館から25年が経過し、機械設備、特に空調機や、照明器具、屋外テニスコートの夜間照明などに不具合が生じて、そのため環境負荷が増加しています。今後については、それらの更新と、施設全体のLED化など、利用が増加しても環境負荷増にならないように、南陽市と二人三脚で進めていきたいと思っております。

株式会社 エービーエム 代表取締役社長 赤間 俊明

8. 環境コミュニケーションの取組



お客様が利用するロビーに環境掲示板を設置。環境取組状況だけでなく、お客様からのエコアイデアなども掲示しています。



分別も徹底

こんな大きい掲示板見たことないわ
ギネス世界一だね

そんなギネスあるかい！



菊とぶどうといで湯の里南陽は 魅力満載



赤湯ラーメン



熊野大社

この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、窓口でお申し出
いただくか、下記にご連絡下さい。

南陽市勤労者総合福祉センターHP (<http://www.watowa-nanyo.jp>)

指定管理者株式会社エービーエムHP (<http://www.y-abm.co.jp/>)

エコアクション21中央事務局HP (<http://www.ea21.jp/>) でもご覧いただけます。

〒992-0472山形県南陽市宮内4526-1 TEL. 0238-47-6445